モノナク卽チ縣民悉ク恒產ヲ有スルニ至レリ是レ實ニ社會上最モ好適ナル狀況ニシテ自由經濟組織ノ今日容易ニ之ヲ見ルヲ得サルノ事例ニ屬ス故ニ苟モ他ノ產業ノ發達セサル限リ此好適ナル狀況ヲ持續センコトヲ圖ルハ思フニ本縣將來ニ於ケル施政上ノ一大方策タルヘシ

三　土地所有權確定後土地ニ對スル觀念ノ發達

夫レ舊慣土地制度ノ下ニ於テ地割ノ方法ニ依リ土地ノ配當ヲ受ケ或一定ノ期間之ヲ占有シテ耕作使用シ僅ニ收益スルニ過キサリシ狀態ニ於テハ寧ロ地方耗竭ヲ顧ミサルモノアルモ之レカ改良ヲ圖ルヲ望ムヘカラサルヤ當然ノ事理ト謂フヘク其土地ニ對スル觀念ノ甚タ薄弱ナルハ亦毫モ怪シムヘキニアラス沖繩縣土地整理法發布セラレ土地所有權ノ確認セラレシ以來既ニ殆ト四年ノ星霜ヲ經過シタリ而シテ土地所有權ノ獲得ハ本縣縣民ニ取リテハ實ニ空前ノ事傷ニシテ玆ニ始メテ自己ノ所有トシ永久ノ占有ヲ爲シ得ルニ至リタルカ故ニ其僅々三四年ニ過キサル短日月ノ間ニ於テ土地ニ對スル觀念ノ著シク發達セルモノアルヲ見ル蓋シ是レ亦當然ノ事理ト云フヘキナリ

回顧スレハ土地所有權確認當時ニ於ケル一般耕地ノ狀況ハ實ニ見ルニ足ラサリシモノアリシナリ卽チ耕耨ニ力メサルカ爲メニ壠畝ハ徒ラニ雜草ノ蔓蕪ニ委シテ更ニ作毛ト區別スヘカラサルモノアリ溝渠ヲ修メサルヲ以テ阡陌ハ空シク浸水ノ蕩壞ニ任セテ殆ト墊沃ノ地ニ變スルモノアリ若シ夫レ鋤犁ヲ加ヘテ作土ノ鬱顚ヲ施シ肥料ヲ投シテ地力ノ增進ヲ圖ルカ如キハ殆ト稀有ノ例ニ屬ス況ヤ溝渠ヲ穿チ排水ノ道ヲ通シ畝道ヲ作リテ運搬ノ便ヲ開クカ如キヲヤ又況ヤ石骨岩塊ヲ鑿出シテ地盤ノ改良ヲ企ツルヲヤ然ルニ一旦土地所有權ノ確定セラルヽヤ堤塘ヲ修メテ水

害ニ備ヘ岩石ヲ鑿出シテ地盤ヲ整ヘ溝渠畝道ヲ開キテ排水運搬ノ法ヲ立テ雜草ヲ芟除シ肥料ヲ施シテ地力ノ增進ヲ圖ル等畦畛經界劃然トシテ整備シ又荒蕪ノ舊觀ヲ留メス試ミニ所有權確定ノ當時ニ於テ地位ノ等級ヲ查案シタル土地ニ就キ今日ニ於ケル現狀ニ依リ更ニ其等級ヲ查案セン乎蓋シ數等ノ上位ニ置カサルヘカラサルモノ多カルヘク猶ホ且甚シキハ其地盤ノ大半石骨岩塊ヲ布キ到底最下等ニ位セサルヲ得サリシモノ今日ニ於テハ最上位ノ土地ト區別スル能ハサルニ至レルモノアリ是レ皆土地改良ノ盛ニ行ハレタル明徵ニシテ農民ノ土地ニ對スル觀念ノ著シク發達セル事實ヲ證スルニ餘リアリト云フヘシ

土地ニ對スル觀念ノ發達ハ啻ニ土地ノ改良ヲ圖ルニ止マラス自ラ勤勉貯蓄ノ德性ヲ涵成スル蓋シ土地ノ改良ヲ圖ランニハ先ツ勞力ヲ要セサルヘカラス卽チ玆ニ勤勉心ハ養成セラレ次テ其益〻土地ヲ愛重スルノ結果肥料ヲ加ヘテ地力ノ增進ヲ企ツルニ至リ玆ニ資本ノ觀念發達シ勢ヒ貯蓄ノ必要ヲ促進スヘケレハナリ宜ナル哉昨明治三十五年季ニ於ケル製糖產額カ俄カニ三割以上ノ增加ヲ示スニ至リタルモノハ是レ氣候ノ順適ナリシニ因ルモノアリト雖モ主トシテ土地ノ改良肥料ノ授施及耕耘精勵ノ結果ニ歸セスンハアラス思フニ本縣農產額ノ倍加スルヲ見ルニ至ルハ蓋シ數年ヲ待タサルヘシ噫是レ土地所有權ノ確認セラレタル直接ノ效果ニシテ又斯業遂行ニ關シ實現セラレタル事實ノ著大ナルモノトス

第二　土地測量

土地測量ハ一筆地ノ形狀面積ヲ測定シ各筆相互ノ關係位置ヲ圖示スルヲ目的トシ之ヲ別チテ平面測量及高低測量ノ二トス而シテ本局ニ於ケル土地測量ノ目的ハ平面積ノ測定ニ在ルヲ以テ專

ラ平面測量ヲ施行シテ高低測量ニ及ハス

一　土地測量ノ順序方法

土地測量ノ順序方法ハ本局土地測量規程ニ於テ之ヲ定メ同規程及解說書ハ曩キニ別冊トシテ之ヲ發刊シタリ故ニ其詳細ハ之ヲ同書ニ讓リ玆ニハ其概要ヲ記述スルニ止メントス

夫レ土地ノ小區劃タル各筆地ハ廣袤形狀盡ク一ナラスシテ地面ハ起伏及種々ノ障碍物ヲ有スルヲ常トシテ之ヲ測量スルニ各筆概ネ多少ノ差違ヲ包含スルコトアルヲ免レス是レ測量作業上避クヘカラサル所ニシテ公差ヲ規定シテ一定ノ程度以內ニ於ケル差違ハ之ヲ容認スルノ已ムヲ得サル所以ナリトス而シテ數百千筆ヲ輯合シテ一字乃至一村ニ對シ其關係位置ヲ圖示セントスルトキハ毫釐ノ差違モ累重シテ多大トナリ相互ノ間ニ重複若シクハ空隙ヲ生シ整然吻合セスシテ遂ニ拾收スヘカラサルニ至ルヲ以テ豫メ一定ノ準據ヲ設ケ各其範圍ヲ超脫セサラシムルヲ要ス故ニ測量技術上ニ於テ先ツ其測量スヘキ土地ノ全區域ニ亘リ共通ノ基準點ヲ設定シテ準據トナシ然ル後之ニ據リテ其土地ノ細小ナル部分ヲ測定スルノ順序ニ依ルヲ通則トス本局ニ於テ施行セル土地測量モ亦此通則ニ依リテ其順序ヲ定メ土地測量規程ニ於テ左ノ如ク之ヲ規定セリ

第一條　土地測量ハ圖根測量、碎部測量及製圖ノ三作業ニ分チテ之ヲ施行ス

圖根測量ハ主要ナル地點ヲ測量シ碎部測量ノ基準點ヲ設定スルモノトス

碎部測量ハ前項ノ基準點ニ依リ一筆地ノ位置形狀ヲ測量シ圖面ヲ調製シ及面積ヲ算定スルモノトス

製圖ハ前項ノ一筆地圖面ニ依リ字圖、村圖、區圖等ヲ調製スルモノトス

要スルニ土地測量ノ順序ハ全區域共通ノ基準點若干ヲ設定スヘキ圖根測量ヲ第一著ニ施行シ次ニ土地ノ小區劃タル字及ヒ字內ニ存スル一筆地ノ位置形狀ヲ測量シテ圖面ヲ製シ面積ヲ定ムヘキ碎部測量ヲ施行シ終リニ碎部測量ニ依リテ得タル實測圖ヲ輯合シテ字圖、村圖、區圖等ヲ調製スル製圖作業ニ及ホスモノトス卽チ測量ノ作業ハ(甲)圖根測量(乙)碎部測量(丙)製圖作業ノ三トス其方法ノ概要左ノ如シ

(甲)　圖根測量

圖根測量ハ三角測量法ニ依ル三角測量法トハ地上ニ設ケタル諸點ヲ連結シテ三角形ヲ成サシメ純正數學上三角法ノ規約ニ依リ相互ノ關係位置ヲ測定スルモノニシテ數學上三角法ニ平面、球面等ノ別アルカ如ク三角測量法ニ於テモ亦地球ノ表面、球面、次球面トナス故ニ三角測量法中高尙ナルモノニ在テハ技術者及器械ヲ精選シ許多ノ費用ト時日トヲ要ス然レトモ本局ニ於テハ斯業ノ目的ニ副フノ程度ニ於テ最モ簡易ナル平面三角法ニ基ク三角測量法ヲ採用セリ

圖根測量ハ一等圖根測量、二等圖根測量ノ二作業ニ分チテ施行ス一等圖根測量ハ土地ノ面積約二十方里ヲ一區域トナシ區域內及其附近ノ主要ナル位置ニ一等圖根點ヲ配置シ基線及子午線ヲ測定シ順次ニ方向角測量ヲ施行シ計算ニ依リ其點ノ位置ヲ決定シ二等圖根測量ハ土地ノ面積約四方里ヲ一區域トシテ區域內及其附近ニ在ル一等圖根點間ニ二等圖根點ヲ配置シ一等圖根點ニ基準シテ方向角測量ヲ施行シ計算ニ依リ其點ノ位置ヲ決定スルモノトス其一等圖根測量、二等圖根測量ノ區別ヲ設ケタルハ先ツ土地ノ大體ヲ總括シ更ニ之ヲ區分スルモノニシテ圖根測量ト碎部測量トヲ區別シタルト同一理ニ基クモノナリ

圖根測量ヲ施行スルニハ先ツ其土地ヲ踏査シ圖根點ノ位置ヲ撰定ス一等圖根點ハ一方里約二個ニシテ其相互ノ距離中數四百間トス各點ハ之ヲ連結スレハ三角形ヲ成シ互ニ覘視シ得ヘキ展眸開濶ナル地點ニ在ルヲ要シ其位置ニハ地上ニ埋石シテ之ヲ標示シ且他點ヨリノ覘望ニ供スル爲メ高ク標識ヲ建設スヘキモノトス

純正數學三角法ノ規約ニ依レハ三角形ノ一邊及二角ヲ知ルトキハ他ノ二邊及一角ヲ算定シ得ヘキモノトス故ニ三角法ニ基ク測量ニ於テハ一個ノ既知邊ヲ求ムルヲ要ス是ヲ以テ開濶平坦ナル土地ヲ撰定シ二個圖根點間ノ距離ヲ測量器械ニ依リ實測ス之ヲ基線ト云フ

各圖根點相互ノ距離卽チ三角形ノ各邊ハ基線ヲ既知一邊ト爲シタル三角形ニ於テ各角ヲ測量器械ニ依リ觀測シタル方向角ヨリ求メ以テ之ヲ算定シ次キニ算定ニ依リテ得タル邊長ヲ既知一邊ト爲シタル三角形ニ於テ各角ヲ求メ他ノ二邊ヲ算定スルノ方法ニ依リ基線ヨリ起リ連接三角形ヲ以テ廣表面ニ擴充シタルトキハ更ニ他ノ實測セル邊長ニ到達シテ其應合ヲ照査シタル後之ヲ決定ス

圖根點ノ位置ハ各測量區域ノ中央ニ通スル子午線ヲ縱軸トシ之ト直交スル線ヲ橫軸トスル所ノ縱橫線長ニ依リテ之ヲ表示スルモノニシテ子午線ハ極星觀測ヲ施行シテ之ヲ決定シ縱橫線長ハ圖根點相互ノ距離ト其方向ノ子午線ニ關スル方位角トニ依リ之ヲ算定スルモノトス

測量器械ハ基線測量ニハ鋼裝卷尺ヲ使用シ子午線觀測及方向角測量ニハ六吋轉鏡經緯儀ヲ使用セリ

(乙) 碎部測量

碎部測量ハ碎部圖根測量一筆地測量ノ二作業ニ分チテ施行ス碎部圖根測量ハ土地ノ面積約一方里ヲ一區域ト爲シ區域內及其附近ニ存スル圖根點ニ基準シテ其位置ヲ決定シ一筆地測量ハ土地ノ一字ヲ一區域トナシ區域內及其附近ニ存スル圖根點及碎部圖根點ニ基準シ一筆地ノ形狀面積及其關係位置ヲ測定スルモノトス

圖根測量ニ於テ設定シタル圖根點ハ約四百間ヲ隔テ之ニ幅員二三十間ニ過キサル一筆地ヲ依託セントスルニハ尙稀疎ニシテ作業頗ル迂遠ナリ然ルニ圖根點ノ間隔ヲ短縮スルトキハ三角測量法ニ依リ測量ヲ施行スルニ便ナラス故ニ他ノ方法ニ依リ圖根點間ニ若干ノ圖根點ヲ補設スルノ必要ヲ生ス碎部圖根測量ハ此必要ニ應スルカ爲ニ施行スルモノニシテ其圖根點ハ村界字界若クハ主要ナル道路ニ配置シ各點相互ノ距離ヲ五十間乃至百二十間トシ地上ニ埋石シテ之ヲ標示ス」碎部圖根點ノ位置ハ經緯道線測量法ニ依リ決定ス經緯道線測量法トハ地上ニ設置シタル諸點ヲ連結シテ多角線ヲ成サシメ其各角及距離ヲ實測シテ各點ノ縱橫線長ヲ算定スルモノニシテ碎部圖根測量ニ在リテハ一等圖根點若クハ二等圖根點ヨリ起リテ碎部圖根點ヲ連結シ他ノ一等圖根點若クハ二等圖根點ニ到リテ其應合ヲ照査シ之ヲ決定ス

碎部圖根點ノ位置ハ其測量區域ノ中央ヲ原點トシテ改算シタル圖根點ノ縱橫線長ヲ基準シタル所ノ縱橫線長ニ依リテ之ヲ表示ス

測量器械ハ距離測量ニハ測鎖ヲ使用シ角測量ニハ四吋轉鏡經緯儀ヲ使用シ各點ノ位置ヲ標識スルニハ標桿ヲ使用セリ

一筆地測量ハ測板測量法ニ依リテ施行ス測板測量法トハ圖紙ヲ貼附シタル測板ヲ實地ニ携帶シ羅針ニ依リ方位ヲ正シ其圖紙上ニ地上諸點ノ位置ヲ幾何的ニ圖示シ諸點ノ成セル形狀ヲ測定スルモノニシテ先ツ圖根點及碎部圖根點ノ縱橫線長ニ依リ其位置ヲ圖紙上ニ展開シタル測板ヲ使用シ地上ニ於ケル圖根點ノ位置ト圖上ニ於ケル圖根點ヨリ一筆地ノ各隅角點ヲ視準シ其距離ヲ測量シテ圖上ニ之ヲ載セ終リニ地上ニ於ケル一筆地ノ周邊ト圖上ニ於ケル其圖形ノ周邊トヲ照査シテ之ヲ決定ス

斯ノ如ク連續シテ各筆地ヲ測量スルトキハ一筆地ノ位置形狀ハ圖上ニ明示セラルヽモノニシテ此實測ニ依リ得タル圖面ヲ一筆地原圖ト云フ

測板測量ニ於テ地上ノ距離ト圖上ノ距離トノ比例尺ハ必要ノ程度ニ應シ之ヲ定ムルモノニシテ通常千二百分一ノ尺ヲ用ヒ市街宅地ハ六百分一ノ尺ヲ用フルヲ例トス但幅員小ナル耕地墓地等ニアリテハ六百分一若クハ三百分一ノ尺ヲ用フルコトアリ

一筆地測量ニ於テ地形及必要上測板測量法ニ依ラスシテ三斜式測量法ニ依ルコトアリ三斜式測量法トハ單ニ距離測量ノミヲ施行スルモノニシテ其結果ニ依リ一筆地原圖上相當ノ位置ニ其圖形ヲ構成ス三斜式測量法ヲ施行スルニハ一筆地界ノ各隅角點ヲ標示シ其周邊三角形ニ區分スル斜線及證線トナルヘキ他ノ斜線ヲ實測シ以テ圖形ヲ構成シ其正確ナルコトヲ證明シ得ヘキ材料ヲ充足ス

一筆地測量ニ於ケル距離ハ通常間ノ十分一マテヲ測定シ市街宅地ニ在リテハ間ノ二十分一マテヲ測定セリ

一筆地ノ面積ハ通常歩位ニ止メ市街宅地ニ在リテハ坪ノ百分一ヲ算定セリ其面積ヲ算定スルニハ從來ノ所謂三斜法ニ依ル卽チ一筆地原圖上ニ一筆地ノ位置形狀ヲ決定シタルトキハ之ヲ數多ノ三角形ニ區分シ每三角形ニ一個ノ垂線ヲ定ム一等地ノ面積ハ區分三角形ノ總面積ニシテ區分三角形ノ面積ハ底邊ノ長ニ垂線ノ長ヲ乘シ二除シタルモノトス但運算ノ便宜上各乘積ノ和ヲ二除スルヲ例トセリ其廣袤大ナル山林原野等ニ在リテハ面積測定器ヲ使用シ其面積ヲ測算セリ面積測定器ハ圖上ノ面積ヲ測定スル器械ニシテ之ヲ一筆地原圖上ニ備ヘ測定セントスル一筆地界ニ沿ヒ器械ヲ運行セシムルトキハ之ニ伴ヒ廻轉スル計輪ニ依リ其面積ヲ讀算シ得ルモノトス

一筆地測量ヲ施行シタルトキハ一區域卽チ一字每ニ一筆地面積測量簿ヲ調製シ各長程及面積ノ計算ヲ載スルモノトス

測量器械ハ距離測量ニハ測鎖若クハ竹製長尺ヲ使用シ測板測量ニハ測板羅針照準儀ヲ使用シ各點ノ位置ヲ標識スルニハ標桿若クハ旗桿ヲ使用セリ

(丙) 製圖

製圖作業ハ謄寫及縮寫ノ二トシ圖面ハ字圖及村圖若クハ區圖ノ二トス字圖ハ一筆地原圖ヲ輯合謄寫シテ之ヲ調製シ村圖若クハ區圖ハ字圖ヲ輯合縮寫シテ之ヲ調製ス

字圖ハ千二百分一ノ尺ヲ用フルヲ例トシ原圖ニ六千分一ノ尺ヲ用ヒタルモノアルトキハ六千分一ノ尺ヲ用ヒ全字圖ヲ調製シ別ニ千二百分一ノ尺ヲ用ヒ部分圖ヲ調製シ村圖若クハ區圖ハ六千分一ノ尺ヲ用ヒ之ヲ調製ス

字圖村圖ニ載スルモノハ左ノ如シ

字圖 ⎧ 圖根點 境界 一筆地界 道路、河川、溝渠、堤塘、海岸線
　　 ⎩ 涉所、橋梁、渡船場 諸註記

村圖 區圖 ⎧ 圖根點 境界 宅地耕地不耕地ノ概形 道路、河川、海岸線
　　　　 ⎩ 涉所、橋梁、渡船場 諸註記

字圖ニ在リテハ河川溝渠海岸ノ水部ヲ藍ノ淡色ヲ用ヒ渲彩スルノ外彩色ヲ施サス村圖若クハ區圖ニ在リテハ道路ハ赭黃ノ中色、宅地ハ赭黃ノ淡色不耕地ハ鑛綠ノ淡色堤塘ハ黑ノ淡色水部ハ藍ノ淡色ヲ用ヒ渲彩シテ之ヲ識別シ易カラシム

縮圖ヲナスニハ縮圖器械ニ依リテ行フヲ常トシ稀レニ幾何的縮圖法ニ依ルコトアリ

二 土地測量ノ成果

今碎部測量ニ依リ測定シタル各筆地段別ノ細目ヲ表示セハ左ノ如シ

第一號 沖繩縣各種地目別段別表

區分	地目	那覇區	首里區	島尻郡	中頭郡	國頭郡	宮古郡	八重山郡	計
民有地	田	町 六・九七二七	—	町 二、一九一・九三一〇 六四	町 一、五七六・〇〇〇三 五一	町 二、六六五・五〇〇一 六二	町 三三六・一〇一九	町 二、一七七・三六二七	町 八、九五三・八八二八 七七
	畑	一〇四・七七一三	町 五八・二〇〇八	一二、六四四・三七一八 二九	一三、九四九・四三一四 七九	一一、五九一・二二二三 七九	一二、三一六・七四二〇 〇九	三、九二〇・九五〇九 八八	五四、五八五・七〇二九 二三
	郡村宅地	二六・〇七二四	一〇九・〇五〇四	一、一〇一・五七二六	七七五・七三二一	七七五・七三二一	一四五・三七一二 六四	二四〇・四〇一〇	三、八七九・七八一〇 六四
	市街宅地	坪 三一七、八二一・〇五	—	—	—	—	—	—	坪 三一七、八二一・〇五
有租地	鹽田	町 一六・六七一六	—	町 一三・二三一八	町 四二・七〇〇七	町 三五・四五〇三	町 八・八四二一	—	町 一一六・九一〇五
	池沼	・五三二〇	一・八五〇二	六・一四一八 四二	五・八九二四 一一	三・一九〇五 五七	三・六八一七 八〇	町 七・九八〇三 五八	二九・二九〇一 四八
	山林	一五・七五〇一	二一・二二二五	三、六九六・四五二一	二、八七五・六五二二	五、六五〇・四六二三	四一八・五六〇二	八二四・七三二七	一三、五〇二・八六〇一
	牧場	—	—	—	—	—	四七三・一八二二	五、六〇二・八三二六	六、〇七六・〇二一八
	原野	七・七六二〇	三・九六〇九	五、三一九・八〇二六 八八	二、一一一・四七二五	六、〇〇一・九八〇七	五、九九〇・三五一一	四、二六八・八五〇九	二三、七〇四・二〇一七 八八
	雜種地	二・六〇一五	・四二三一	一〇九・三五一三	五三・九七一九	四三・四六一九	九・七六二二	六・一九二三	二二五・七九一一
	小計	坪 三一七、八二一・〇五 町 一八一・一六一六	一九四・七二〇九	二五、〇八二・八九〇二 二三	二一、七九六・七〇二七	二六、七六七・〇二一三 九八	二〇、〇〇二・六二〇八 五三	一七、〇四九・三三一五 四六	坪 三一七、八二一・〇五 町 一一一、〇七三・四七〇二 九九
免租地	公立學校地	二・七九二七	二・一六二六	一三・九〇一四	一〇・八四二〇	一三・四二〇九	四・一六一三	二・八〇〇八	五〇・一〇二七
	墳墓地	一七・三二二四 四二	二・六〇〇一	一四八・三一二二 三四	二八六・四七一八 九三	七三・九〇一一 九一	五四・七一二四	五一・八五〇二	六三五・一九一四 六〇
	溜池	・二一二五	・〇〇〇九	三一・〇三一四 八五	一八・二四〇五	一七・六一二七	一六・〇九〇五	六・八一二九	九〇・〇二三四 八五
	間切島役場敷地	—	—	三・八四二四	一・八六〇三	一・三八二五	—	・五二二七	七・六二一九
	社地	・四四一三	—	・二四一一	・一三〇四	—	—	—	・八一二八
	寺地	・五五〇五	・四八二九	一・七三二六	一・〇八〇六	一・二九一七	・二二一三	・三六一三	五・七四二九
	拜所	一・四〇一七	三・〇〇二三	三六三・三三二七	六〇・三〇一九	一三六・〇四一四	一二二・三八二三	二一〇・七八〇八	八九七・二七一一
	公園地	五・八一一三	—	—	—	—	—	—	五・八一一三
	新開地	—	—	二九・五一二〇	—	一九・五三二八	—	—	四九・〇五〇八
	小計	二七・九三〇四 四二	八・二六二八	五九一・九四〇九 一九	三七八・九四一五 九三	二六三・二一〇一 九一	一九七・五八一八	二七三・一五〇七	一、七四一・〇三二四 四五

第二號　荒地取調表

郡名＼地目	田				畑				計			
	段	別筆	段	別筆	段	別筆	段	別筆
島尻郡	五九一七歩	一〇、六〇三	五	一〇六	三〇	九一	五	一〇九
中頭郡		一、八七〇二		四二		五、六三八		八、七〇二
國頭郡		一八一六		四二		五、六二五	〇歩	一、四二四
宮古郡		一〇、六〇三		四二		五、六二五	〇歩	一、四二四
八重山郡		一四二九		四二		五、六二五	〇歩	一、四二四
計		三八、五二九		一〇、七〇		二七、三〇		三八、〇

總計		合計	官廳敷地	官廳敷地附屬地	官舍敷地	燈明臺地	學校敷地	農事試驗病院敷地	病院敷地	傳染病地	用墓地	墳墓地	池沼	山林	原野	舊城址	附屬地	兵用地	元陸軍用地	拜所	雜種地
三五、三八四町	三、八六二、〇五	三、八六二、〇五	五目一六	三、九六〇歩	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇
二、〇九町	二、〇九町	二、〇九町	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇
三、五六町	三、五六町	三、五六町	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇
八、〇町	八、〇町	八、〇町	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇
一〇、一町	一〇、一町	一〇、一町	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇
一〇、一町	一〇、一町	一〇、一町	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇
九、九六町	九、九六町	九、九六町	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇	一、三五〇

第三　地價查定

地價ヲ論ヲ俟タ各共品位ニ對スル課稅ハサルヘキ土地地價ニ對スル課稅ノ標準ナリ而シテ土地ノ品位ノ甄別ハ主トシテ共品位收穫ノ如何ニ據ラサルヘカラス

タルヘキ土地ノ地價ニ應シテ適當ニ共額ヲ查定スルサル所ニシテ共品位收穫ノ多寡ニ從ヒ共等級ヲ付スルハ地價ノ標準ヲ保ツ能ハス

故ニ地價查定スル先ツ土地ノ收穫ヲ調查シテ共品位ヲ均フセス各筆共等級ヲ付スル

ヲ順序トス而シテ其各筆ニ對シテ地位ノ等級ヲ付スルニ當リテハ各其實地ヲ踏査スルヲ要ス即チ地價ノ査定ニハ(一)收穫ノ調査(二)地位等級ノ詮定(三)地押調査ノ準備行爲ヲ經サルヘカラス以下順次之ヲ概説セン

一　收穫ノ調査

收穫ノ調査ハ主トシテ耕地即チ田畑ノ二地目ニ對シテ之ヲ行ヘリ

抑〻耕地ノ收穫ハ單ニ其土地ノ産出力如何ニノミ因ルモノニアラスシテ肥料ノ投施如何及鋤犁ノ勞力如何ニヨリ大ニ其結果ヲ異ニスルヲ以テ各筆地ノ有スル産出力ハ精確ニ之ヲ量定スルコトハ到底困難ナル事體ナリト云ハサルヘカラス故ニ之ヲ各村ニ渉リ之ヲ各筆地ニ施シテ一々其收穫ヲ調査スルカ如キハ其方法ノ得タルモノニアラスシテ之ヲ或特定ノ土地ニ施シ施肥耕耘ノ如何ニ顧ミ之ヲ年ノ豐凶ニ參酌シテ大體ニ於ケル收穫ノ額ヲ知了シ之ヲ他ノ各筆ノ類地ニ推及スルノ資料ニ供スルヲ得ルニ止メサルヘカラス

卽チ本局ニ於テハ各間切ニ就キ上中下三等ノ村ヲ指定シ其各等ノ村内ニ於テ更ニ又上中下三等ノ土地ヲ撰定シ年々同一ノ土地ニ就キ坪苅試驗ノ方法ニ依リ其收穫ヲ調査シタリ其規定左ノ如シ

收穫調査手續（抄錄）

第一條　收穫ハ米粟、大豆、大麥裸麥、小麥、甘藷及甘蔗ノ各種ニ就キ調査スルモノトス

第二條　收穫調査ハ實地ニ就キ坪苅試ヲ以テ之ヲ爲スモノトス但收穫ノ時季ニアラサル場合ニ於テモ作付人其他農事ニ經驗アル者ニ就キ尋問調査スルコトアルヘシ

第三條　收穫實地調査ヲ爲スニハ先ツ間切村吏員及村内重立タル者ニ就キ地位等級ノ區分ヲ

調査シ實驗スヘキ土地ヲ撰定スルモノトス

地位ハ上中下ノ三等ヲ撰フモノトス

土地ノ肥瘠水利ノ便否肥料ノ多寡其他ノ狀況ニ依リ吏員等ノ申立ニ憑リ難シト思料スル場合ハ調査員ニ於テ土地ヲ指定スルモノトス

第四條　撰定セシ土地ノ一區域中土地ノ肥瘠作物ノ不同アル場合ニハ其最モ平衡ヲ得タル部分ヲ撰擇スルモノトス

第五條　收穫實地調査ハ間切村吏員及重立タル者ノ立會ヲ需メ且作主ノ承諾ヲ得テ著手スルモノトス但作主不在ノ場合ニハ立會人ノ承認ヲ求ムルモノトス

第六條　收穫實地調査ハ毎等三箇所以下ニ就キ一箇所一坪乃至六坪ノ坪苅ヲ爲スモノトス

第七條　坪苅試ハ作物ノ生立地ト畝トノ分界ヲ正シ凡ソ枠ノ二方ハ其内部ニ作物ヲ附著セシムルモノトス

第八條　乾減ハ作物ノ種類熟否等ニ依リ各種差異アルヘキニ依リ宜シク其實況ニ依リ斟酌シ歩合ヲ定ムルモノトス

第九條　收穫調査ハ毎年同一ノ場所ニ就クモノトス

同一場所ニ於ケル作物ニシテ前年ト其作物ノ種類ヲ異ニスルカ又ハ其他ノ狀況ニ依リ同一作物ノ收穫ヲ調査スルコト能ハサル場合ニハ其類似ノ土地ヲ撰定スルモノトス

第十條　收穫調査ノ際其土地自作小作ノ區分ヲ調査スルモノトス小作地ナルトキハ其叶米自作地ナルトキハ相當叶米ヲ調査スルモノトス

現在ノ叶米カ或ル事故ノ爲メ其當ヲ得スト思料スル場合ニハ其相當額ヲ調査スルモノトス

第十一條　甘蔗ハ製成セシ黑糖ノ升量ニ遷リ可成適實ノ方法ヲ以テ調査スルモノトス

第十二條　山林原野ハ便宜適切ノ方法ヲ以テ其收穫ヲ調査スルモノトス

第十三條　宅地ハ最近賣買價格及叶米金額ヲ調査スルモノトス

第十四條　收穫調査ノ際各種作物ノ作付習慣、種子肥料代其他耕作ノ費用及作主ノ所得ヲ調査スルモノトス

（其他略之）

二　地位等級ノ詮定

地位ノ等級ハ直接ニ地價額ヲ算出スルノ根據ニシテ其等級ノ差異ハ地價額ノ差違ヲ來シ其等級ノ詮定如何ハ直ニ地價額ノ權衡如何ニ關スル而シテ一村內ニ於ケル各筆ノ地位必シモ同一ナラサルカ如ク各村乃至各郡ニ於ケル各筆ノ地位モ亦各差等アルヲ常トスルヲ以テ單ニ一村內ニ於ケル各筆地ニ對シ地位ノ等級ヲ付スルニ止マリ村ト村ノ間、間切ト間切ノ間乃至郡ト郡ノ間ニ於ケル地位ノ如何ヲ顧ミスンハ遂ニ全管ニ於ケル地價ノ權衡ヲ失フニ至ルヤ明瞭ナル事理ト云フヘシ故ニ各村ニ於ケル各筆地ニ對シ地位ノ等級ヲ附スルノ前ニ於テ豫メ村位以上ノ等級ヲ確定シ以テ全區劃ニ於ケル地位ノ權衡ヲ量定シ之ヲ統率スル所アルヲ要ス而シテ本縣ハ全管僅ニ五郡ニ過キサルヲ以テ特ニ郡以ヲ定メス郡ノ下ニ於ケル間切位及村位ノ等級ヲ詮定スルニ止メタリ

間切位ノ等級ハ一郡內ニ於ケル各間切ノ土地ニ就キ各其最上位ノ範圍ニ屬スヘキモノヲ撰定シ田畑ニ在リテハ其土壤ノ良否、地味ノ肥瘠、宅地ニ在リテハ地方繁榮ノ程度等ヲ踏査觀察スルト共

ニ耕耘ノ難易、交通ノ便否、被害ノ有無、餘業ノ潤否等苟モ地價ノ查定ニ關係ヲ及ホスヘキ事項ハ悉ク之ヲ調查シテ彼此對照シ交互酌量シ之ヲ二等ニ分ツ

村位ノ等級ハ一間切內ニ於ケル各村ノ土地ニ就キ各村毎ニ大體間切位ノ等級詮定ノ方法ニ準シ其村ノ屬スル間切位ノ等級ニ鑑ミ其實況ニ應シテ之ヲ二等乃至四等ニ分ツ

以上ノ方法ニ依リ田畑宅地ノ各地目別ニ間切位村位ノ等級ヲ調查シタル後島廳郡役所ノ意見ヲ參酌シテ間切位及村位ノ諮詢案ヲ製シ一間切毎ニ間切長、勸業委員、村頭及各村地主總代等ヲ會シテ之ヲ諮詢シ其當否ヲ審議セシメ取捨採擇シテ之ヲ確定セリ

各筆地地位等級ハ地押調查員ヲシテ村頭及地主總代等ヲ實地ニ立會シ諮詢考定シテ之ヲ付セシム而シテ之カ付等ヲ各地押調查員ノ區々ノ詮定ニ一任センカ各級ニ屬スヘキ土地ノ範圍一定セサルノミナラス他ノ同間切位同村位ニ於ケル各筆地地位等級ニ對スル平衡ヲ得サルニ至ルヘキヲ以テ亦豫メ之ヲ牽束スル所アルヘカラス卽チ村位ノ等級詮定ノ根據タル其村最上位ノ範圍ニ屬スヘキ土地ハ各筆地地位等級ノ詮定ニ就キテモ亦一等地タルノ範圍ニ屬スヘキニ依リ之ヲ各地押調查員ニ指示スルト共ニ點々各等ニ屬スヘキ土地ヲ撰擇シ延ヒテ其村數下位ノ範圍ニ屬スヘキ土地ニ及ヒ一々之ヲ指示シテ以テ其各等級ノ範圍ヲ示スト共ニ其等級數ヲ限定シ之ニ準據シテ村內各筆地ニ及サシムルノ方法ヲ採レリ

之ヲ要スルニ以上ノ方法ハ間切位及村位ノ等級ニヨリ各間切各村間ニ於ケル地位等級ノ權衡ヲ計リ各筆地地位等級ヨリ其村內各筆地地位ノ平衡ヲ計ルト共ニ同間切位同村位ニ屬スル他ノ各筆地ニ對スル地位等級ノ平衡ヲ計ラントスルニ存ス故ニ間切位ト云ヒ村位ト云フモ之ヲ一般改租

當時ニ於ケル者ニ比スレハ其目的及方法ヲ異ニシ其名相等シキカ如キモ其實大ニ異ナル者トス
田畑宅地以外ノ地目ニ對スル地位等級モ亦大體以上ノ方法ニ準シ之ヲ詮定セリ
以上等級ノ詮定ニ關スル規定左ノ如シ

地位等級詮定手續（抄錄）

第一條　間切ヲ異ニシ若クハ村ヲ異ニセル各地目毎筆地ニ付スヘキ等級ヲシテ相互ノ平衡ヲ得セシムルノ基準トシテ間切位及村位ノ等級ヲ詮定スルモノトス

間切位及村位ノ等級ハ郡別ニ之ヲ詮定スルモノトス

第二條　間切ノ等級ハ村位ノ等級ハ毎筆地ノ等級ヲ付スル以前ニ之ヲ詮定スルモノトス

第三條　間切位及村位ノ等級詮定ニ先チ左ノ方法ニ依リ假リニ各村ニ於ケル田畑各一段歩當收穫高ヲ定ム

一　收穫調查指定村ニ在テハ實地ニ就キ收穫調查實績ノ適否ヲ考量シテ最高最低額ヲ定ムルコト

二　收穫調查指定以外ノ各村ニ在テハ實地ニ就キ前號ニ依リ定メタル收穫高ニ比準シテ最高最低ヲ定ムルコト

三　前二號ニ依リ收穫ノ最低額ヲ定ムルニ方リ同地目中劣等ナルモノアルトキハ之ヲ除外スルコト

四　村頭及地主總代ニ諮詢シテ收穫高ヲ申立テシメ之ヲ參酌スルコト

第四條　間切位及村位ノ等級ハ田畑及宅地ノ各地目別ニ之ヲ詮定スルモノトス
前項間切位及村位ノ等級ハ田畑ニ在テハ前條ニ依リ定メタル收穫ノ最高額ニ對シ運輸交通ノ便否其他特殊ノ事情ヲ斟酌シ宅地ニ在テハ其隣地ニ於ケル田畑ノ收穫高ニ比準シ地方繁榮ノ程度ヲ照合シテ之ヲ詮定シ及每等級ニ對スル石量ヲ定ム其差額ハ各一斗トス

第五條　間切位ノ等級ハ各間切長、勸業委員及各村村頭及地主總代ニ諮詢シテ之ヲ詮定スルモノトス

第六條　間切位ノ等級ヲ詮定シタルトキハ別紙第一號樣式ニ依リ各間切長、勸業委員及各村地主總代ヲシテ之ニ承印セシメ村位ノ等級ヲ詮定シタルトキハ別紙第二號樣式ニ依リ當該間切長各村村頭及地主總代ヲシテ之ニ承印セシムヘシ

第七條　每筆地ニ付スヘキ等級ハ第三條ニ依リ假リニ定メタル間切位及村位ノ等級ニ從ヒ校定シ其範圍內ニ於テ之ヲ定メ及每等級ニ對スル收穫物ノ石量ヲ定ム其差額ハ一斗五升トス但シ收穫ヲ校定シタル場合ニ於テ同地目中劣等ナルモノアルトキハ之ヲ除外スルモノトス

宅地ニ在テハ其地方繁榮ノ狀況ニ應シテ每筆地ニ付スヘキ等級ヲ定メ及第四條ニ依リ定メタル石量ヲ以テ之レカ最高額トシ以下遞減シテ每等級ニ對スル石量ヲ定ム其差額ハ一斗トス

第八條　第三條及第七條第一項但書ニ依リ除外セラレタル每筆地ニ對シテハ第七條第一項ニ依リ定メタル石量ノ最低額以下ニ於テ地押ノ際適宜石量ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テ若シ等級ヲ設クルノ必要アルトキハ實地ノ狀況ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得其每等級ニ對スル石量ハ前項ニ同シ

第九條　田畑及宅地以外ノ地目ニ於ケル每筆地ニ付スヘキ等級ハ田畑每筆地ニ付スヘキ等級ニ比準シテ之ヲ定ム

第十條　每筆地ノ等級ハ地押ノ際之ヲ詮定スルモノトス

每筆地ノ等級ハ第七條乃至第九條ニ依リ定メタル等級石量ヲ標準トシ村頭及地主總代ノ意見ヲ諮詢シテ之ヲ詮定スルモノトス

每筆地等級ヲ詮定スルニ當リ每筆地ノ有スル特殊ノ事情アルトキハ之ヲ斟酌スルモノトス

第十一條　一村內每筆地ノ等級ヲ詮定シタルトキハ村頭及地主總代ヲシテ土地一筆限帳ニ承印セシムヘシ

（樣式略之）

夫レ斯ノ如ク地位等級ノ詮定ハ比較的精密ノ方法ヲ規畫シ遺漏ナカランコトヲ期シタリト雖其各筆地等級ノ詮定ハ筆數ノ夥多ナル時ニ或ハ調查ノ錯誤ナキヲ保スルヲ得ス又間切位村位ノ詮定ニ在リテモ爾後各筆地地位等級ノ詮定等ニ關シ益〻其村ノ踏查ヲ緻密ナラシメタルノ結果或ハ權衡ヲ失スルモノアルヲ發見スルニ至リ更ニ主務者ヲ特派シテ之ヲ精查セシメ其錯誤ヲ正シ權衡ヲ計リ以テ全體ニ於ケル等級ノ確定ヲ見ルニ至レリ

三　地押調查

地押調查ハ各筆地ニ對シ地番地目ヲ付シ地位等級ヲ詮定シ境界ヲ正シ所有主ヲ調查シテ一筆限

帳ヲ調製スル等要スルニ地價查定ノ準備ヲ爲スニ外ナラス地押調查員ハ書記若クハ助手一名トシ附屬員トシテ助手若クハ雇員一名以上ヲ置キ之ヲ一組トシ數組ノ上ニ調查主任一名ヲ置キ書記ヲ以テ之ニ充テ事業ノ進捗統一ヲ圖ラシムヘシ

地押調查ノ事項中各筆地地位等級ノ詮定ハ事最モ困難ニシテ又最モ重要ナルモノニ屬ス而シテ各筆地地位等級ノ準據ハ一々之ヲ指示セリト雖若シ夫レ各調查主任若クハ調查員ニシテ尙ホ其詮定ノ程度ヲ異ニセンカ到底自他ノ權衡ヲ得ル能ハサルヲ以テ各調查主任ヲシテ其各自擔當區域內ニ於ケル調查員ノ調查ヲ指揮統一セシメ殊ニ甲乙隣接セル調查員ヲ實地ニ立會シ大體其隣接地境ニ在ル土地ノ等級ヲ決定シテ各其內部ニ推及セシメ將タ各調查主任ノ擔當區域ニ隣接セル土地ニ就テハ關係各調查主任實地ニ立會シテ其等級ヲ協定シ以テ全管等級詮定ノ平準ヲ計ラシメタリ而シテ一方ニ於テハ絕ヘス監督員ヲ派シ主トシテ等級ノ詮定ニ關スル狀況ヲ監查セシメタリ

各筆地地位等級ノ詮定ニ際シ地主總代等ヲ實地ニ立會セシメ之レカ當否ヲ諮詢スルニ方リ往々低位ノ答申ヲナシ以テ付等ヲ低カラシメントスルモノアリ甚シキハ則チ其答申ノ全然採用セラレサルノ故ヲ以テ立會ヲ拒ムモノアルニ至レリ然レトモ各調查主任若クハ監督員ニ於テ其諮詢ヲナスハ調查ノ適正ヲ期スルニ在ルヲ以テ徒ラニ不當ノ答申ヲ爲スカ如キハ却テ之レカ趣旨ニ反スコト及立會ヲナサヽルニ於テハ調查ノ錯誤ヲ永遠ニ遺スヘキコト等反覆旨趣利害ヲ說明シ漸ク會得スルニ至リ遂ニ全部甚シキ紛擾ヲ見スシテ適當ナル詮定ヲ了スルヲ得タリ

地押調查及其監督ニ關スル規程左ノ如シ

地押調査手續

第一條　每筆ノ地目境界等級所有主等ヲ調査スル爲メ地押ヲ爲スモノトス

第二條　地押ハ字界村界等ヲ正シタル上著手スルモノトス

第三條　地押調査ハ各擔當區ヲ指定シ調査主任一名調査員若干名ヲシテ之ニ從事セシム但必要アルトキハ調査員ニ對シ助手又ハ雇ヲ附屬セシムルコトアルヘシ

調査主任ハ其擔當區域內ニ於ケル調査員及其附屬員ヲ監督シ事業統一進捗ヲ圖リ調査全體ノ責ニ任スルモノトス

調査員ハ調査主任ト協定シ又ハ其指示ニ從ヒ地押調査ニ從事シ事業擧否ノ責ニ任スル者トス

調査員ニ附屬スル助手又ハ雇ハ地押調査事務ヲ補助スルモノトス

第四條　地押調査ヲナスニハ地主總代ヲシテ實地ニ立會ハシメ諸般ノ諮詢ニ應セシムル者トス

第五條　地押ニ先チ標杭建設ヲ必要トスルトキハ郡區役所島廳間切村吏等ニ協議シ建設セシムルモノトス

第六條　土地ノ境界等ニ關シ爭論アルトキハ庶務課出張員郡區役所島廳間切村吏員等ト協議シ可成雙方ノ調和ヲ謀リ穩便ノ處置ヲナスコトニ努ムルモノトス

第七條　少歩數ノ土地ニシテ連接セルモノハ一筆トシ調査スルモノトス此場合ニ於テ若シ所有者ヲ異ニスルモノハ可成交換ヲ勸誘スルモノトス

第八條　地押ノ際別紙第一號樣式ニ依リ見取圖及字別村圖ヲ調製スルモノトス

第九條　見取圖ハ鉛筆ヲ以テ畫キ置キ卽夜若クハ雨天ノ日ニ之ヲ整理スルモノトス

第十條　調査員全村ノ見取圖調製ヲ了シタルトキハ字別村圖ト共ニ卽日之ヲ調査主任ニ送付スルモノトス但全村完了前ニ於テ第十一條ノ調査ヲ爲ス場合ハ直チニ之ヲ當該擔任者ニ引繼クモノトス

第十一條　調査主任ハ事業進捗ノ狀況ニ應シ適當ノ時機ヲ計リ自己ニ於テ若クハ調査員ヲ指定シテ再地押ヲ爲シ見取圖ノ適否誤脫ノ有無ヲ調査シ及每筆地ニ等級ヲ付シ之ヲ見取圖ニ記入スルモノトス

第十二條　前條ノ調査ヲ了シタルトキハ當該擔任者ニ於テ一村ヲ通シテ地番ヲ付スルモノトス

飛地ハ其所在村ニ於ケル地番ヲ付スルモノトス

第十三條　再地押ヲ了シ地番ヲ付シタルトキハ當該擔任者ニ於テ別紙第二號樣式ニ依リ土地一筆限帳及第四號樣式ニ依リ地押調査概況報告書ヲ調製スルモノトス

第十四條　見取圖字別村圖土地一筆限帳及地押調査概況報告書ハ一箇村分完結ノ上調査主ニ於テ取纏メ本局ニ送付スヘシ

見取圖及字別村圖ハ之ヲ編綴シ其表紙ニ郡間切村名完結年月日及從事者ノ官氏名ヲ記シ捺印スルモノトス

第十五條　地押調査ノ課程ハ一日平均雨天共第八條ノ場合ニ於テハ百三十筆以上第十一條ノ場合ニ於テハ三百筆以上トス但每筆ノ區域廣濶ニシテ地押困難ノ箇所ハ此限ニアラス

第十六條　事ノ疑義ニ涉ルモノハ監督員ノ指示ヲ受ケテ之ヲ處理スヘシ

第十七條　地押調査ノ成績ハ當該擔任者ニ於テ上半箇月分ヲ其月十六日迄ニ下半月分ヲ翌月一日迄ニ別紙三號樣式ニ依リ調査主任ヲ經テ報告スヘシ

（樣式略ス）

地押調査監督員心得

第一條　監督員ハ其擔當區域內ニ於ケル地押調査事業ノ統一ヲ圖リ其進歩成績ノ責ニ任スルモノトス

第二條　地押調査ニ關シ監督ヲ爲スヘキ事項左ノ如シ

一　調査ハ關係諸規程ニ適合セルヤ

二　調査ノ程度其中正ヲ失スルコトナキヤ

三　事業進捗ノ狀況

四　見取圖及土地一筆限帳整理ノ狀況

五　村界字界及一筆地境界ノ調査ハ周到ナリヤ

六　見取圖ノ方位形狀及地目ハ實地ニ適合セルヤ

七　地番ノ配付ハ適當ナリヤ

八　每筆地等級ノ詮定ハ適當ナルヤ

九　脫落若クハ重複ノ土地ナキヤ

十　土地一筆限帳ハ地番數等見取圖ト符合シ住所氏名ニ誤謬ナキヤ

第三條　地押調査ニ關シ視察ヲ爲スヘキ事項左ノ如シ

一　地押調査及地押調査員ニ對スル地主及人民ノ感想

二　地主總代ノ地押調査員ニ對スル應答ノ狀況

三　地押調査員ノ郡區役所島廳及間切役場村事務所ノ吏員ニ對スル交涉及人民ニ對スル應接ノ狀況

四　間切位村位ノ詮定ハ公平ヲ失スルコトナキヤ

五　地押調査衞生上注意ノ狀況

六　前各號ノ外監督員ニ於テ必要ト認メタル事項

第四條　監督員ハ時々手帳ヲ查閱シ適宜ノ場所ニ月日ヲ記シ認印ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ著シク事業ノ遲滯セルモノアリト認ムルトキハ其事由ニ依リ懇切ニ相當ノ注意ヲ與フヘシ

第五條　地押調査員ヨリ調査ニ關シ指示ヲ求メタルトキ若クハ監督上必要ト認メタルトキハ意見ヲ示シテ懇切ニ之ヲ指導スヘシ

第六條　監督員ニ於テ事體重大ナリト認ムルモノアルトキハ其事實竝ニ意見ヲ具シ指揮ヲ請フヘシ但急迫ノ場合ニ在リテハ愼重ニ處理シ直ニ之ヲ報告スヘシ

第七條　監督員ハ事業進捗緩急ニ應シ擔當區域ノ調査ヲ完結シタル組合員ヲシテ他ノ組合員ヲ補助セシムルコトヲ得

第八條　監督員ハ日誌ヲ作リ詳細ニ諸般ノ事項ヲ記載シ歸局ノ際復命書ニ添付シ差出スヘシ

但臨時必要ト認ムル事項ハ其都度之ヲ報告スヘシ

四　地價ノ決定

一般改租當時ニ於ケル地價ノ決定ハ收穫穀價及利率ノ三要素ニ依リテ之ヲ算定セラレタリ本縣地價ノ決定ニ關シ沖繩縣土地整理法ノ規定スル所亦左ノ如シ

第二十條　此ノ法律ニ依リ民有トナリタル土地便宜區劃シテ地盤ヲ丈量シ每筆其ノ品位等級ヲ詮定シ所得ヲ審査シ其ノ土地ノ情況ニ應シテ地價ヲ定ム

ト卽チ所得ヲ審査スルニハ收穫及穀價等ニ依ラサルヘカラサルヲ以テ本縣地價決定ノ要素モ亦一般改租當時ニ於ケルモノト異ラサルヲ知ルヘシ

然ルニ本縣ハ由來一定ノ市場ナク從テ公定相場ノ據ルヘキモノナキヲ以テ穀價ノ決定ニ關シ殆ト取ルヘキノ資料ヲ缺ケリ唯僅ニ舊慣制度ニ依リ徵收セル稅品ニ對スル貢納代金ノ指定セラレタルモノアリト雖其決定ノ方法甚タ鹵莽杜撰ニシテ單ニ二三ノ商估ニ就キ一定ノ時期ニ於ケル數日間ノ賣買價格ヲ取リタルモノニ過キサルヲ以テ直ニ之ニ準據スルハ決シテ當ヲ得タルモノニアラス若シ夫レ已ムナクシテ之ニ準據スルトセハ宜シク適當ナル斟酌ヲ施スノ業ハ全ク空漠ニ屬シ一モ根據ナキ料定ニ過キサルニ了ルヘシ且ツ夫レ一方ニ於テハ一般改租ノ業ハ明治七八年ノ交ニ於テ遂行セラレ地價算定ノ要素タル收穫穀價及利率ノ決定ハ勿論當時ノ狀況ニ依リタルモノナルヲ以テ爾來殆ト三十年ヲ經過セル今日ヨリ之ヲ見レハ農業ノ進歩ハ收穫ノ增進ヲ促シ物價ノ騰貴ハ其收得ヲ增加セルヤ蓋シ疑フヘカラサルノ事實ナルヘシ果シテ然ラハ其今日ニ於テ本縣ノ地價ヲ決定スルニ方リ收穫ニ對シテモ將タ又穀價ニ對シテモ宜シク相當ノ參酌低減ヲ施スヘキコトハ均シク

同一稅率ニシテ同一目ニ屬スル課稅ノ標準タル地價ノ決定上正當ナリト云ハサルヘカラス是レ實ニ他府縣ニ於ケル地價ニ對スル權衡上避クヘカラサル資料ニ缺クル所アルノミナラス及他方ニ於テハ夫レ斯ノ如ク一方ニ於テハ穀價ノ決定ニ供スル資料ニ缺クル所アルノミナラス及他方ニ於テハ他府縣ノ地價ニ對スル權衡上收穫穀價ヲ斟酌スルヲ要スルモノアリ二者ノ決定ヲシテ益〻困難ナラシムルノ事情ヲ存ス

故ニ他府縣ニ比準シテ適當ナル地價額ヲ求メ同時ニ本縣現在ニ於ケル收穫穀價等ニ對シ適當ナル參酌ヲ施シタルモノニ依リ其地價額ヲ算出シテ交互對照シ以テ其適正ヲ認メタル上本縣ニ於ケル地價額ヲ決定スルハ曾ニ他府縣ニ於ケル地價ニ對スル權衡ヲ計ル所以ノ途タルノミナラス亦以テ本縣ノ實際ニ對スル適正ヲ得ルノ捷徑タルヘキニ依リ遂ニ此方法ニ準據シテ地價額ヲ決定スルニ至レリ

一段歩當地價順位表（其一）

田方

等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額
一等	三五・〇〇〇圓	十二等	二四・〇〇〇圓	二十三等	一五・〇〇〇圓	三十四等	八・五〇〇圓
二等	三四・〇〇〇	十三等	二三・〇〇〇	二十四等	一四・〇〇〇	三十五等	八・〇〇〇
三等	三三・〇〇〇	十四等	二二・〇〇〇	二十五等	一三・〇〇〇	三十六等	七・五〇〇
四等	三二・〇〇〇	十五等	二一・〇〇〇	二十六等	一二・五〇〇	三十七等	七・〇〇〇
五等	三一・〇〇〇	十六等	二〇・〇〇〇	二十七等	一二・〇〇〇	三十八等	六・五〇〇

等級	金額	等級	金額	等級	金額
四十五等	三・〇〇〇圓	四十六等	二・五〇〇	四十七等	二・〇〇〇
四十八等	一・八〇〇	四十九等	一・五〇〇		

第十一號　一段畑歩當方地價順位表（其二）

等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額
一等	三六・〇〇〇圓	十一等	二四・〇〇〇圓	二十一等	一五・〇〇〇圓	三十一等	八・〇〇〇圓	四十一等	三・〇〇〇圓		
二等	三五・〇〇〇	十二等	二三・〇〇〇	二十二等	一四・〇〇〇	三十二等	七・五〇〇	四十二等	二・五〇〇		
三等	三三・〇〇〇	十三等	二二・〇〇〇	二十三等	一三・五〇〇	三十三等	七・〇〇〇	四十三等	二・〇〇〇		
四等	三一・〇〇〇	十四等	二一・〇〇〇	二十四等	一三・〇〇〇	三十四等	六・五〇〇	四十四等	一・五〇〇		
五等	三〇・〇〇〇	十五等	二〇・〇〇〇	二十五等	一二・〇〇〇	三十五等	六・〇〇〇	四十五等	一・〇〇〇		
六等	二九・〇〇〇	十六等	一九・〇〇〇	二十六等	一一・〇〇〇	三十六等	五・五〇〇	四十六等	一・〇〇〇		

備考　本表ハ全管同地目ニ付シタル地價額ヲ順次排列シタルモノニシテ全管各等級ノ同其ノ等級ノ數ヲ示スヲ目的トス以下同之

第十一號　百坪當市街地宅地地價順位表（其四）

等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額
一等	三六・〇〇〇圓	十一等	二四・〇〇〇圓	二十一等	一五・〇〇〇圓	三十一等	八・〇〇〇圓	四十一等	三・〇〇〇圓		
二等	三五・〇〇〇	十二等	二三・〇〇〇	二十二等	一四・〇〇〇	三十二等	七・五〇〇	四十二等	二・五〇〇		
三等	三三・〇〇〇	十三等	二二・〇〇〇	二十三等	一三・五〇〇	三十三等	七・〇〇〇	四十三等	二・〇〇〇		
四等	三一・〇〇〇	十四等	二一・〇〇〇	二十四等	一三・〇〇〇	三十四等	六・五〇〇	四十四等	一・五〇〇		
五等	三〇・〇〇〇	十五等	二〇・〇〇〇	二十五等	一二・〇〇〇	三十五等	六・〇〇〇	四十五等	一・〇〇〇		
六等	二九・〇〇〇	十六等	一九・〇〇〇	二十六等	一一・〇〇〇	三十六等	五・五〇〇	四十六等	一・〇〇〇		

第十一號　一段郡歩村當宅地地價順位表（其三）

七等	金額	六等	金額	五等	金額	四等	金額	三等	金額	二等	金額	一等	金額
十九等	二六・〇〇〇圓	十七等	二三・〇〇〇圓	十五等	二〇・〇〇〇圓	十三等	一七・〇〇〇圓	十一等	一四・〇〇〇圓	九等	一一・五〇〇圓	七等	九・〇〇〇圓
二十等	二五・〇〇〇	十八等	二二・〇〇〇	十六等	一九・〇〇〇	十四等	一六・五〇〇	十二等	一三・五〇〇	十等	一一・〇〇〇	八等	九・五〇〇
二十一等	二四・〇〇〇	十九等	二一・〇〇〇	十七等	一八・〇〇〇	十五等	一六・〇〇〇	十三等	一三・〇〇〇	十一等	一〇・五〇〇	九等	一〇・〇〇〇
二十二等	二三・〇〇〇	二十等	二〇・〇〇〇	十八等	一七・〇〇〇	十六等	一五・〇〇〇	十四等	一二・五〇〇	十二等	一二・〇〇〇	十等	一〇・〇〇〇
二十三等	二二・〇〇〇	二十一等	一九・〇〇〇	十九等	一六・五〇〇	十七等	一五・〇〇〇	十五等	一四・〇〇〇	十三等	一三・〇〇〇	十一等	一一・〇〇〇
二十四等	二一・〇〇〇	二十二等	一八・〇〇〇	二十等	一六・〇〇〇	十八等	一五・〇〇〇	十六等	一四・〇〇〇	十四等	一三・〇〇〇	十二等	一二・〇〇〇
二十五等	二〇・〇〇〇	二十三等	一七・〇〇〇	二十一等	一五・〇〇〇	十九等	一三・五〇〇	十七等	一二・〇〇〇	十五等	一一・〇〇〇	十三等	一〇・〇〇〇
二十六等	一九・〇〇〇	二十四等	一六・〇〇〇	二十二等	一四・〇〇〇	二十等	一二・五〇〇	十八等	一一・〇〇〇	十六等	一〇・〇〇〇	十四等	九・〇〇〇

第十一號　一段畑歩當方地價順位表（其一）

等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額	等級	金額
一等	三六・〇〇〇圓	十一等	二四・〇〇〇圓	二十一等	一五・〇〇〇圓	三十一等	八・〇〇〇圓	四十一等	三・〇〇〇圓		
二等	三五・〇〇〇	十二等	二三・〇〇〇	二十二等	一四・〇〇〇	三十二等	七・五〇〇	四十二等	二・五〇〇		
三等	三三・〇〇〇	十三等	二二・〇〇〇	二十三等	一三・五〇〇	三十三等	七・〇〇〇	四十三等	二・〇〇〇		
四等	三一・〇〇〇	十四等	二一・〇〇〇	二十四等	一三・〇〇〇	三十四等	六・五〇〇	四十四等	一・五〇〇		
五等	三〇・〇〇〇	十五等	二〇・〇〇〇	二十五等	一二・〇〇〇	三十五等	六・〇〇〇	四十五等	一・〇〇〇		
六等	二九・〇〇〇	十六等	一九・〇〇〇	二十六等	一一・〇〇〇	三十六等	五・五〇〇	四十六等	一・〇〇〇		

備考　本表ハ全管同地目ニ付シタル地價額ヲ順次排列シタルモノニシテ全管各等級ノ同其ノ等級ノ數ヲ示スヲ目的トス以下同之

第十一號　百坪當市街地宅地地價順位表（其四）

十七等	金額	十六等	金額	十五等	金額	十四等	金額	十三等	金額	十二等	金額	十一等	金額
二十等	二六・〇〇〇圓	十八等	二三・〇〇〇圓	十六等	二〇・〇〇〇圓	十四等	一七・〇〇〇圓	十二等	一四・〇〇〇圓	十等	一一・五〇〇圓	八等	九・〇〇〇圓
二十一等	二五・〇〇〇	十九等	二二・〇〇〇	十七等	一九・〇〇〇	十五等	一六・五〇〇	十三等	一五・〇〇〇	十一等	一二・〇〇〇	九等	一〇・〇〇〇
二十二等	二四・〇〇〇	二十等	二一・〇〇〇	十八等	一八・〇〇〇	十六等	一六・〇〇〇	十四等	一三・五〇〇	十二等	一三・〇〇〇	十等	一一・〇〇〇
二十三等	二三・〇〇〇	二十一等	二〇・〇〇〇	十九等	一七・五〇〇	十七等	一六・〇〇〇	十五等	一五・〇〇〇	十三等	一四・〇〇〇	十一等	一三・〇〇〇
二十四等	二二・〇〇〇	二十二等	二一・〇〇〇	二十等	一八・〇〇〇	十八等	一七・〇〇〇	十六等	一六・〇〇〇	十四等	一五・〇〇〇	十二等	一四・〇〇〇
二十五等	二一・〇〇〇	二十三等	二〇・〇〇〇	二十一等	一九・〇〇〇	十九等	一八・〇〇〇	十七等	一七・〇〇〇	十五等	一六・〇〇〇	十三等	一五・〇〇〇
二十六等	二〇・〇〇〇	二十四等	一九・〇〇〇	二十二等	一八・〇〇〇	二十等	一七・五〇〇	十八等	一七・〇〇〇	十六等	一六・〇〇〇	十四等	一五・〇〇〇

第十一號　一段郡歩村當宅地地價順位表（其三）

十九等	金額	十八等	金額	十七等	金額	十六等	金額	十五等	金額	十四等	金額	十三等	金額
二十等	二六・〇〇〇圓	二十一等	二三・〇〇〇圓	二十二等	二〇・〇〇〇圓	二十三等	一七・〇〇〇圓	二十四等	一四・〇〇〇圓	二十五等	一一・五〇〇圓	二十六等	九・〇〇〇圓
二十一等	二五・〇〇〇	二十二等	二二・〇〇〇	二十三等	一九・〇〇〇	二十四等	一六・五〇〇	二十五等	一五・〇〇〇	二十六等	一一・〇〇〇	二十七等	一〇・〇〇〇圓
二十二等	二四・〇〇〇	二十三等	二一・〇〇〇	二十四等	一八・〇〇〇	二十五等	一六・〇〇〇	二十六等	一四・〇〇〇	二十七等	一一・〇〇〇	二十八等	九・五〇〇
二十三等	二三・〇〇〇	二十四等	二〇・〇〇〇	二十五等	一七・〇〇〇	二十六等	一五・〇〇〇	二十七等	一三・五〇〇	二十八等	一一・〇〇〇	二十九等	九・〇〇〇
二十四等	二二・〇〇〇	二十五等	二〇・〇〇〇	二十六等	一六・五〇〇	二十七等	一五・〇〇〇	二十八等	一三・〇〇〇	二十九等	一〇・五〇〇	三十等	八・五〇〇
二十五等	二一・〇〇〇	二十六等	一九・〇〇〇	二十七等	一六・〇〇〇	二十八等	一五・〇〇〇	二十九等	一二・五〇〇	三十等	一〇・〇〇〇	三十一等	八・〇〇〇
二十六等	二〇・〇〇〇	二十七等	一八・〇〇〇	二十八等	一五・〇〇〇	二十九等	一二・五〇〇	三十等	一二・〇〇〇	三十一等	九・五〇〇	三十二等	七・五〇〇

第十一號　一段畑歩當方地價順位表（其二）

十九等	金額	十八等	金額	十七等	金額	十六等	金額	十五等	金額	十四等	金額	十三等	金額
二十等	二六・〇〇〇圓	二十一等	二三・〇〇〇圓	二十二等	二〇・〇〇〇圓	二十三等	一七・〇〇〇圓	二十四等	一四・〇〇〇圓	二十五等	一一・五〇〇圓	二十六等	九・〇〇〇圓
二十一等	二五・〇〇〇	二十二等	二二・〇〇〇	二十三等	一九・〇〇〇	二十四等	一六・五〇〇	二十五等	一五・〇〇〇	二十六等	一一・〇〇〇	二十七等	一〇・〇〇〇圓
二十二等	二四・〇〇〇	二十三等	二一・〇〇〇	二十四等	一八・〇〇〇	二十五等	一六・〇〇〇	二十六等	一四・〇〇〇	二十七等	一一・〇〇〇	二十八等	九・五〇〇
二十三等	二三・〇〇〇	二十四等	二〇・〇〇〇	二十五等	一七・〇〇〇	二十六等	一五・〇〇〇	二十七等	一三・五〇〇	二十八等	一一・〇〇〇	二十九等	九・〇〇〇
二十四等	二二・〇〇〇	二十五等	二〇・〇〇〇	二十六等	一六・五〇〇	二十七等	一五・〇〇〇	二十八等	一三・〇〇〇	二十九等	一〇・五〇〇	三十等	八・五〇〇
二十五等	二一・〇〇〇	二十六等	一九・〇〇〇	二十七等	一六・〇〇〇	二十八等	一五・〇〇〇	二十九等	一二・五〇〇	三十等	一〇・〇〇〇	三十一等	八・〇〇〇
二十六等	二〇・〇〇〇	二十七等	一八・〇〇〇	二十八等	一五・〇〇〇	二十九等	一二・五〇〇	三十等	一二・〇〇〇	三十一等	九・五〇〇	三十二等	七・五〇〇

等級		等級		等級		等級		等級	
一等	一〇〇・〇〇〇厘	四等	五〇・〇〇〇厘	七等	一八・〇〇〇厘	十等	八・〇〇〇厘	十三等	二・〇〇〇厘
二等	八五・〇〇〇	五等	三五・〇〇〇	八等	一三・〇〇〇	十一等	七・〇〇〇	—	—
三等	六五・〇〇〇	六等	二五・〇〇〇	九等	一〇・〇〇〇	十二等	六・〇〇〇	—	—

五 地價地租額

地價ノ總額ハ八百四拾五萬貳千參百七拾參圓九拾七錢九厘ニシテ此地租額ハ貳拾壹萬千四百七拾五圓九拾七錢貳厘トス今之ヲ舊租額五拾萬參千八百拾參圓參拾貳錢貳厘ニ比スレハ金貳拾九萬貳千參百參拾七圓參拾五錢ヲ減シ其減額步合ハ五割八步トス其地價地租額ニ關スル詳細ハ左記諸表之ヲ示ス

地目別地價地租總計表（其一）

地目	區分	那覇區	首里區	島尻郡	中頭郡
田	地價	一、五〇九・五九〇厘	—厘	三八〇、五二五・四二三厘	二九七、七九九・九三〇厘
	地租	三七・七五〇	—	九、五二三・一八二	七、四五三・〇四一
畑	地價	三一、〇〇六・七八〇	一五、三八五・七五〇	一、九九二、七〇〇・七七〇	二、五五五、二七〇・四四〇
	地租	七七五・三七二	三八四・七二〇	四九、八四八・三一二	六三、九二〇・七九四
郡村宅地	地價	一二、四〇七・二一〇	三〇、八一〇・〇五〇	一九三、二二八・八九〇	二〇〇、二四六・四八〇
	地租	三一〇・六九〇	七七一・三三七	四、八三七・一一五	五、〇一三・二二六
市街宅地	地價	九一、〇一七・二二〇	—	—	—
	地租	二、二七五・八五〇	—	—	—
鹽田	地價	一、五四五・〇二〇	—	五四〇・六一〇	三、二七八・七九〇
	地租	三八・六一〇	—	一三・五八六	八一・九五〇
池沼	地價	五一・三八〇厘	一八三・七七〇厘	五四一・八八二厘	五一四・一四八厘
	地租	一・二八六	四・六〇〇	一三・六七一	一二・九三二
山林	地價	八一・九六〇	一九五・三八〇	九、〇〇六・五九七	七、八七四・一七四
	地租	二・〇八一	四・九〇〇	二二五・三四二	一九八・〇六一
牧場	地價	—	—	—	—
	地租	—	—	—	—
原野	地價	五〇・一四一	三八・六〇〇	七、九五九・四七六	三、二四一・七一三
	地租	一・二六五	・九六二	二〇一・八二五	八三・七三一
雜種地	地價	一、〇八三・五九三	一八九・五一〇	五、〇二七・七一五	二、二二六・六八三
	地租	二七・一二九	四・七三八	一二五・七八二	五五・七六五
計	地價	一三八、七五二・八九四	四六、八〇三・〇六〇	二、五八九、五三一・三六三	三、〇七〇、四五二・三五八
	地租	三、四七〇・〇三三	一、一七一・二五七	六四、七八八・八一五	七六、八一九・五〇〇

地目別地價地租總計表（其二）

地目	區分	國頭郡	宮古郡	八重山郡	計
田	地價	四二四、六七七・〇二〇厘	二二、六七五・〇九〇厘	一〇九、六四一・九四〇厘	一、二三六、八二八・九九三厘
	地租	一〇、六二六・七四一	五六七・六二八	二、七四二・八三三	三〇、九五一・一七五
畑	地價	九一八、四一八・三五八	六七四、四一八・二九三	一八三、七八一・六六八	六、三七〇、九八二・〇五九
	地租	二二、九八四・六二一	一六、八六六・四五五	四、五九六・六二三	一五九、三七六・八九七
郡村宅地	地價	一二四、六八七・一九〇	七〇、四五三・四四〇	三五、一一九・四一〇	六六六、九五二・六七〇
	地租	三、一二一・八一〇	一、七六三・七四九	八七八・八九〇	一六、六九六・八一七
市街宅地	地價	—	—	—	九一、〇一七・二二〇
	地租	—	—	—	二、二七五・八五〇
鹽田	地價	一、四四一・〇〇〇	四〇八・七七〇	—	七、二一四・一九〇
	地租	三六・〇八一	一〇・三一五	—	一八〇・五四二
池沼	地價	二六〇・一五〇	二一〇・二五〇	四〇八・五九〇	二、一七〇・一七〇
	地租	六・五八四	五・二六二	一〇・二五五	五四・五九〇

新舊地租一戶當負擔額比較表 ◎印ハ減

區分／郡區名	戶數	新租額	舊租額	比較增減
那覇區	七、五一七	圓 ・三五二	圓 ・〇一三	圓 ・三三九
首里區	五、三三四	・二二〇	—	・二二〇
島尻郡	二五、〇八五	二・六一六	七・九三一	◎五・三一五
中頭郡	二五、一二一	三・〇五八	六・五九八	◎三・五四〇
國頭郡	一七、三三二	二・一五九	四・五六一	◎二・四〇二
宮古郡	七、九九一	二・四二一	五・一九八	◎二・七七七
八重山郡	三、四一六	二・四七九	五・九二六	◎二・四四七
計	九一、七九六	二・三〇四	五・四八八	◎三・一八四

備考 本表戶數ハ各地主ノ屬スル一戶籍ヲ計上シタルモノナルモ那覇首里ノ二區ハ地主ノ數不明ナルニ依リ已ムヲ得ス全部ノ在籍戶數ヲ掲ケタリ

六 土地臺帳ノ調製

地價ヲ決定セハ玆ニ各地主ニ對シテ各筆地ノ地價額ヲ告知スルト共ニ一方ニ於テハ土地臺帳ヲ調製シテ之ヲ所管廳ニ引繼クヲ要ス而シテ各筆地ノ地價額ヲ告知スルニ方リテハ其告知書ニ記載スヘキ事項ハ亦土地臺帳ニ記載スヘキ事項ニ異ナラスシテ其手數一モ土地臺帳ノ調製ニ要スルモノニ比シ多少アルコトナシ殊ニ土地所有權ノ始メテ確認セラレ且登記法ノ未タ施行セラレサル本縣ニ在リテハ單ニ徵稅上ノ目的ニ供スル地租名寄帳ノ外又土地臺帳ヲ必要トスルモノナシトセス是ヲ以テ土地臺帳ハ正副二通ヲ製シ正本ハ之ヲ所管廳ニ引繼キ副本ハ之ヲ所轄間切役場ニ下付シ以テ地價ノ告知ニ代フルト共ニ之ヲ間切役場ニ備付セシムルノ便法ヲ取リタリ

第四 各業務ノ著手及完成

以上各業務ノ著手ハ明治三十二年四月ニ始マリ明治三十六年十月ヲ以テ全部ヲ完成ス而シテ全管五郡二區ノ內宮古八重山ノ二郡ニ屬スル業務ノ全部ハ明治三十五年十二月ヲ以テ之ヲ完了シ翌三十六年一月一日ヨリ地租條例及國稅徵收法ヲ施行セラルル三郡二區ニ屬スル業務ハ明治三十六年十月ヲ以テ完了シ將ニ來明治三十七年一月一日ヨリ地租條例及國稅徵收法ヲ施行セラレントシ玆ニ始メテ沖繩縣全管ノ土地及租稅制度ハ帝國同一制度ノ下ニ歸屬スルニ至ル

今各業務ノ種別ニ涉リ著手及完成ノ時期ヲ示セハ左表ノ如シ

土地整理事業著手完成時期一覽表

區分／地方	著手年月	完成年月
宮古	三十二年四月	三十三年二月
八重山	三十二年四月	三十三年八月
八重山	三十二年十月	三十三年九月
宮古	三十三年四月	三十四年七月
八重山	三十三年四月	三十三年四月
宮古	三十四年七月	三十五年十一月
八重山	三十五年三月	三十五年十二月

區分	土地處分	土地測量	地價查定
一等圖根	二等圖根	碎部測量	製圖	地押調查	段別地價	土地臺帳製
三十二年四月	三十三年二月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
三十二年四月	三十三年八月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
三十二年十月	三十三年九月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
三十三年四月	三十四年七月	三十四年七月	三十五年十一月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
三十三年四月	三十四年七月	三十四年七月	三十五年十一月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
三十三年四月	三十四年七月	三十四年七月	三十五年十一月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
三十三年四月	三十四年七月	三十四年七月	三十五年十一月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月

地方／區分	著手年月	完成年月
宮古	三十二年四月	三十三年二月
八重山	三十二年四月	三十三年八月
八重山	三十二年十月	三十三年九月
宮古	三十三年四月	三十四年七月
八重山	三十三年四月	三十三年四月
宮古	三十四年七月	三十五年十一月
八重山	三十五年三月	三十五年十二月

區分	土地處分		土地測量			地價查定	
	一等圖根	二等圖根	碎部測量	製圖	地押調查	段別地價	土地臺帳製
山林地	三十二年四月	三十三年二月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
牧場地	三十二年四月	三十三年八月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
原野地	三十二年十月	三十三年九月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
雜種地	三十三年四月	三十四年七月	三十四年七月	三十五年十一月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
計	三十二年四月	三十三年二月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月

地方／區分	著手年月	完成年月
宮古	三十二年四月	三十三年二月
八重山	三十二年四月	三十三年八月
八重山	三十二年十月	三十三年九月
宮古	三十三年四月	三十四年七月
八重山	三十三年四月	三十三年四月
宮古	三十四年七月	三十五年十一月
八重山	三十五年三月	三十五年十二月

區分	土地處分		土地測量			地價查定	
	一等圖根	二等圖根	碎部測量	製圖	地押調查	段別地價	土地臺帳製
山林地	三十二年四月	三十三年二月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
牧場地	三十二年四月	三十三年八月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
原野地	三十二年十月	三十三年九月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
雜種地	三十三年四月	三十四年七月	三十四年七月	三十五年十一月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
計	三十二年四月	三十三年二月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月

地方／區分	著手年月	完成年月
宮古	三十二年四月	三十三年二月
八重山	三十二年四月	三十三年八月
八重山	三十二年十月	三十三年九月
宮古	三十三年四月	三十四年七月
八重山	三十三年四月	三十三年四月
宮古	三十四年七月	三十五年十一月
八重山	三十五年三月	三十五年十二月

區分	土地處分		土地測量			地價查定	
	一等圖根	二等圖根	碎部測量	製圖	地押調查	段別地價	土地臺帳製
山林地	三十二年四月	三十三年二月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
牧場地	三十二年四月	三十三年八月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
原野地	三十二年十月	三十三年九月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
雜種地	三十三年四月	三十四年七月	三十四年七月	三十五年十一月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月
計	三十二年四月	三十三年二月	三十三年四月	三十四年七月	三十二年四月	三十五年三月	三十五年九月

	八重山	國頭	中頭	島尻	首里	那覇
	著手年月 完成年月	著手年月 完成年月	著手年月 完成年月	著手年月 完成年月	著手年月 完成年月	著手年月 完成年月
	三十二年四月 三十三年二月	三十二年四月 三十四年四月	三十二年四月 三十四年四月	三十二年四月 三十四年四月	三十二年四月 三十四年四月	三十二年四月 三十四年四月
	三十二年四月 三十三年八月	三十三年十月 三十四年三月	三十二年十月 三十三年一月	三十二年十月 三十三年一月	三十二年四月 三十四年四月	三十二年四月 三十四年四月
	三十二年十月 三十三年九月	三十三年十月 三十四年七月	三十三年三月 三十四年一月	三十三年三月 三十四年七月	三十三年三月 三十四年七月	三十二年十月 三十三年七月
	三十三年三月 三十四年七月	三十三年九月 三十四年七月	三十三年三月 三十四年一月	三十三年三月 三十四年七月	三十三年三月 三十四年七月	三十三年三月 三十四年七月
	三十三年四月 三十四年七月	三十三年十月 三十四年七月	三十三年五月 三十五年十一月	三十三年四月 三十四年七月	三十三年四月 三十四年七月	三十三年四月 三十四年七月
	三十四年四月 三十五年七月	三十四年四月 三十五年八月	三十四年六月 三十五年七月	三十四年六月 三十五年七月	三十四年六月 三十五年七月	三十四年六月 三十五年七月
	三十四年七月 三十五年十二月	三十四年七月 三十五年十二月	三十四年七月 三十五年十二月	三十四年七月 三十五年十二月	三十四年七月 三十五年十二月	三十四年七月 三十五年十二月
	三十五年一月 三十六年十二月	三十五年一月 三十六年十二月	三十五年一月 三十六年十二月	三十五年一月 三十六年十二月	三十五年一月 三十六年十二月	三十五年一月 三十六年十二月

第五　經費

沖繩縣土地整理ノ業務ハ所有權ノ處分土地測量及地價査定竝ニ之ニ附帶セル土地臺帳及地圖ノ調製等ニ至ル迄全部本局ニ於テ之ヲ施行シ明治初紀ニ於ケル一般改租當時ノ如ク之ヲ人民ノ調査申告ニ委シ若クハ提供進達ニ求メタルモノナキヲ以テ之ニ要シタル費額ハ比較的大ナラサルヲ得サルニ至レリ加之土地測量ノ業ハ學術ノ趣向時勢ノ進運ニ伴ヒ在來杜撰ノ方法ヲ襲用スルヲ得スシテ進歩改善ノ方法ニ依リ精密ナル施行ヲ爲スヲ要シ從テ益費額ヲ增大ナラシムルニ至レリ其他本縣交通ノ不便ト多島ノ地勢トハ又經費ヲ要スルノ主ナル原因ナリトス然レトモ民費ニ至リテハ唯ト僅ニ土地各筆ノ調査ニ臨ミ其村地主總代ヲシテ實地ニ立會セシメタル報酬ノ支出ヲ其村ニ於テ支辨シタルモノアルニ過キサルヲ以テ其費額僅少ニシテ殆ト數フルニ足ラス故ニ費額ハ比較的多大ナルカ如シト雖之ヲ事務ノ分量及其內容ニ對比セハ決シテ過當ノ額ニアラサルナリ

曩ニ土地整理法ヲ發布スルヤ地租條例及國稅徵收法ノ施行期限竝ニ地租ノ納期ニ就テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムヘキ旨規定セリ而シテ土地整理漸ク終ヲ告ケタルヲ以テ此ニ於テカ明治三十五年十二月二十五日勅令第二百七十五號ヲ以テ先ツ沖繩縣宮古郡八重山郡ニ對シ明治三十六年一月一日ヨリ地租條例及國稅徵收法ヲ施行スヘキコトヽシ且同時ニ勅令第二百七十七號ヲ以テ該地ニ於ケル地租ノ納期ヲ規定セリ

沖繩縣宮古郡八重山郡ノ地租ハ左ノ納期ニ於テ之ヲ徵收ス但シ宮古郡多良間島八重山郡大濱間切波照間村及與那國島ノ地租ハ翌年六月一日ヨリ九月三十日限リ之ヲ徵收ス

一期	該年八月三十一日ヨリ同月三十一日限リ	田畑地租	全部
二期	翌年三月一日ヨリ同月三十一日限リ	宅地地租	全部
三期	翌年五月一日ヨリ同月三十一日限リ	畑地租 田畑宅地以外ノ地租	五分 全部

次テ明治三十六年十二月勅令第二百七十八號ヲ以テ沖繩縣島尻郡中頭郡國頭郡及那覇區首里區ニ明治三十七年一月一日ヨリ地租條例及國稅徵收法ヲ施行スルコトヽシ同時ニ勅令第二百七十九號ヲ以テ地租ハ左ノ納期ニ於テ之ヲ徵收シ但島尻郡島島ニアリテハ翌年六月一日ヨリ九月三十日限リ之ヲ徵收スルモノトス

一期	該年七月一日ヨリ同七月三十一日限リ	市街宅地地租 田畑宅地地租	五分 全部
二期	同八月一日ヨリ同八月三十一日限リ	市街宅地地租	五分
三期	翌年一月一日ヨリ同一月三十一日限リ	畑地租	五分
四期	同三月一日ヨリ同三月三十一日限リ		

五期（同五月一日ヨリ同五月三十一日限リ）畑田畑宅地地租以外ノ地租五分全部

是ヨリ先キ土地整理法第一項但書ニ依リ又ハ之ニ準シ土地所有權ヲ得タル者ノ交付スヘキ報償額及時期ニ付明治三十二年六月勅令第三百四號ヲ以テ之ヲ定メタリ

第一條　沖繩縣土地整理法第六條第一項但書ニ依リ土地ノ所有權ヲ得タル者ノ交付スヘキ報償額ハ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ交付シタル叶米又ハ之ニ代ハルヘキ報償ノ三箇年分トス但シ叶米其ノ他金錢ニアラサル報償ハ關係者ノ協議ニ依リ之ヲ金錢ニ換算シテ交付スルコトヲ得

第二條　前條ノ報償額ハ其ノ土地ニ付地租條例ニ依リ始メテ地租ヲ課セラルヽ年ニ於テ之ヲ交付スヘシ但シ其年賦ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ每年ノ交付額ハ從來ノ叶米又ハ之ニ代ハルヘキ報償年額ヲ下ルコトヲ得ス

第三條　前二條ハ沖繩縣土地整理法第十七條ニ依リ同法第六條第一項但書ニ準シテ土地ノ所有權ヲ得タル者ニ準用ス

又從來沖繩縣ニ於テハ舊慣ニ依リ買上糖ト稱シ一定不變ノ價格ヲ以テ每年砂糖ヲ買上ケ其代金ハ畑租ノ石代金ト相殺シタルモ今日ニ至テハ該制度廢止ノ必要ヲ認ムルヲ以テ明治三十二年三月三十一日限リ之ヲ廢止スル旨同年二月二十一日法律第二十三號ヲ以テ公布セリ

第三項　伊豆七島

伊豆七島トハ八丈島、大島、新島、神津島、利島、三宅島及御藏島ヲ指シテ之ヲ云フ初メ德川幕府ノ直轄

地タリシカ維新後東京府ノ管スル所トナレリ今該島ニ於ケル人民土地所有ノ沿革ヲ案スルニ往古ハ之レヲ詳ニシ難シト雖モ各自ニ分割使用シタルモノナラン降テ享保以降ノ書類ヲ見ルニ功勞其他特殊ノ事故アルニ依リ島役人ヨリ特ニ割渡ヲ受ケタルモノナキニアラスト雖モ多クハ或ル地域ヲ定メ地割、割地ト稱シテ土地ヲ分割シタル上各自之レヲ開墾シ又ハ用材地ト爲セシカ如シ其割地、地割ト稱スルハ永久ニ各自ノ所有地トナス意思ヲ以テ行ヒタルモノニシテ沖繩縣ノ如キ或ル年限ニ至リ更ニ割換ヲ爲スカ如キモノニハアラサルナリ而シテ未タ分割セサル所ノ土地ハ住民共有ノ觀念ヲ以テ使用シ來レリ斯ノ如ク島民ハ個人有、又ハ共有卽チ村持ノ觀念ヲ以テ所持シ又ハ使用スルト雖モ是レ各自自信自稱スルニ過キサリシカ天明、寬政年度幕府カ地租ノ制ヲ施行スルニ及ンテ各自ノ持地ハ之レカ賦課ヲ受ケ其所有タルコト稍ヽ確實トナリ次テ明治維新後政府カ土地所有ノ制ヲ確定セラルヽニ至リ今日ノ所謂所有權トナレリ然レトモ島民ハ分割ニ依テ得タル土地ハ自己ノ物ナリトシ進ンテ幕府ノ公認ヲ得ルカ如キコトヲ爲サヽリシト且ツ幕府ハ山林原野ノ如キハ課稅外ニ措クノ方針ナリシヲ以テ明治維新ノ際各自所有スル土地中ニハ未タ地租ヲ課セラレス卽幕府ノ公認ヲ經サルモノ數多アルノミナラス維新後尙ホ習慣ニ依リテ分割割渡ヲ爲シ未タ貢租地トナラサルモノモ巨多アリ明治七年足柄縣官吏ノ出張及同九年靜岡縣官吏出張ノ際開墾奬勵及納稅方ニ付說諭ヲ加ヘタルヲ以テ同七八年ノ頃ヨリ土地及地租ニ關シ續々願書ヲ提出スルニ至レリ然レトモ管轄廳ハ何レモ他日ノ整理ヲ期シ出願事件ニ對シテハ處分ヲ爲サスシテ經過シタリシカ明治十五年二月一日第三號布達ニヨリ各島ニ於ケル伐木ヲ禁止スヘキ民有地調查ノ必要ヲ生シ殊ニ島民出願事件處分其他官民有區分ノ必要アルヲ以テ明治十

五年八月十八日東京府知事ハ左ノ如キ達ヲ發シタリ

官有山林原野ノ內水源涵養土砂扞止風潮除等國土保安ニ關係アルモノト否ラサルモノトノ區別竝ニ本年太政官第三號布達ニ依リ民有林中同上ノ關係アリ將來伐木停止ヲ要スル箇所段別樹木等取調トシテ勸業租稅土木三課員出張申付候條其旨相心得實地取調ノ節地役人名主ニ於テ立會候樣可致此旨相達ス

而シテ明治十五年ヨリ(島ニ出張シタルハ十五年ヨリ十六年ニ亘リタリ)主任官吏ヲ各島ニ派遣シテ調査ヲ爲サシメ官民有地ヲ問ハス國土保安ニ關係アル土地ニ對シテハ伐木ヲ禁シ各島ヨリ之カ請書ヲ徵シタリ

且ツ島民各自所持セル土地未タ貢租ノ賦課ヲ受ケス政府ノ公認ヲ經サルモ民有ノ證蹟明カナルモノハ民有認定ヲ與フル方針ヲ以テ調査シ島民ヨリハ之レカ出願ヲ爲セリ東京府知事ハ明治十九年ニ至リテ民有認定ヲ許可シ而シテ同年分ヨリ地租ヲ賦課シタリ從來ヨリ村持トシ又ハ島民ノ共有ナリト自稱シテ使用シ來リタル土地ハ分割ニ依リテ漸次島民ノ專有ニ移リタリト雖モ尙ホ是等ノ土地數多存在シ諸島ノ內ニハ從前諸運上ヲ納付シタルヲ理由トシテ民有タルコトヲ主張セシ向ナキニアラサリシカ政府ハ民有ノ確證ナキモノト認メタリ然レトモ民有ニ移スノ方針ヲ以テ調査ヲ爲シタルカ故ニ島民ヨリハ之レカ下付ヲ請ヘリ政府ハ明治十九年ニ至リ其出願ヲ許可シ無代價ヲ以テ民有ニ移シ一島若クハ一村ノ共有地トナサシメ猥リニ分割ヲ爲サシメス卽チ分割ヲ要スルトキハ府知事ノ認可ヲ受クヘキ旨ノ條件ヲ付シテ官有地下付ノ出願ヲ許可シ民有認定地ト共ニ賦租ノ處分ヲ爲シタリ此ノ處分ニ依リ同島ノ土地ハ十中八九ハ民有タルコト確

定セリ然ルニ十九年處分ノ土地ト同一ノ狀況ヲ有シタル土地ニシテ今日官有未定地官有地又ハ島ノ共有地トシテ殘存セルモノアリ恐ラク十九年處分ノ際脫落シタルモノナルヘシ(當時村境界ノ爭論ノ爲メ下付ヲ申出テサリシモノアリ)右ニ述フルカ如ク十九年處分ノ方針ハ全島ノ土地中國土保安等ニ關係ナキモノハ悉ク民有ト爲スニ在リタルヲ以テ十六年調査ノ際取調方周到緻密ナルニ於テハ今日斯ノ如キモノヲ見サルヘシト雖モ島役人等事ニ馴レサリシト又從來精確ナル地圖ナク隨テ民有地ノ所在明瞭ナラサリシ等ニ依リ遂ニ處分脫漏スルニ至リタルモノナラン

幕府ヨリノ申渡書中土地ニ關スル部分ヲ擧クレハ左ノ如シ

一　田畑永代賣買堅ク停止ノ事

一　田地質入ニ致候ハヽ年季ヲ定メ手形ニ名主年寄爲致加判證文可取候尤年季ハ十箇年ヨリ永年季ニ致間敷候若シ右加判ノ儀謂無之候テ名主年寄不致加判候ハ可申出候尤名主質入主ニ候ハヽ年寄加判無之候テハ不相立且又質入ノ名主年寄ヘ不致沙汰相對ニテ質ニ入候儀堅致間敷候事附御年貢ノ儀ハ不及申縱ヘ少分ノ品タリトモ其手形無之取遣致間敷候若證文無之出入等申出候ハヽ吟味ノ上可爲越度事

一　用水引候儀先規ノ例ヲ以テ兼テ定メ用水不足ノ處有之ハ互ニ論ヲ不致神主名主年寄共方ヘ可申訴云々

一　島中ノ輩爲寬宥新田令開發可然所ハ吟味ノ上障リ無之ニ於テハ開發可申付ハ勿論本畑ヘ精ヲ入レ可令耕作若獨身ノ百姓相煩候ハヽ其年寄ノ百姓互ニ助令田畑不承樣可申附事

寬政八年四月十三日

勘定奉行連印

（享保十四年九月十三日支配代官ヨリ島方へ申渡シタルモノ及元文三年八月支配代官ヨリ島方へ申渡シタルモノモ之ト同シ）

一　新田畑開發可相成場所等無隱有體ニ申立見分可請其外何品ニ不寄土地相當ノ作物仕附方心附候得ハ可申立聊タリトモ島方夫食ノ足合ニ相成候樣精ヲ出シ作付可申候（寛政八年九月ノ申渡）

一　夫病死致後家ニナリ幼年子供有之者ノ畑長女ヲ馬鹿ニ致掠取候者ハ猶嚴重ニ可被仰附候其旨相心得若左樣ナルモノ有之候ハヽ島役人吟味致役所へ可申立候急度御仕置可被仰附事

次ニ地租ニ就テハ幕府カ七島ノ土地ニ對シテ地租ヲ課シタルハ天明二年ヲ以テ初メトス幕府ハ安永十年左ノ如ク各島ニ申渡セリ

先觸

伊豆國附七島ノ義田畑モ少々ハ有之候由ニ候得共島方ノ義ニ附漁獵稼等ヲ專ラト致一體ニ乏敷候故年々御救米被下置候義ニ有之且八丈島ニハ御國穀御手當モ有之程ノ義ニ候處流人其外ニテ次第ニ人別ハ相增シ候趣ニ候得共島方助成ニ相成候義モ不致出來尤島方爲ニ相成候筋ハ無油斷可被勘辨候得共年來御人被遣候義モ無之右土地ノ樣子見分ノ上致勘辨候ハヽ島方助成相成候義モ可有之哉ニ附此度佐藤玄六郎吉川儀右衞門爲見分差遣候第一島方御救ノ爲ニ候間島方ノ者心得違無之見分筋案內等諸事不差支樣可致候

右之趣從松平伊豆守殿我等方へ御下知ニ附申渡候間云々

安永十丑年五月

江川太郎左衞門殿

右島々

神主、名主、年寄

大島
利島
新島
神津島
三宅島
御藏島
八丈島

而シテ安永十年（天明元年ナリ）ヨリ天明二年ニ渉リ吏員ヲ派遣シ各島ノ耕地及貢租ヲ調査セシメタル結果天明三年ニ至リ同二年ヨリ賦租シタリ其賦租ノ方法ハ課率ヲ定メ段別ノ多寡ニ應シテ賦課セリ課率ハ一段歩永二十文乃至三十五文ニシテ諸島異同アリ但八丈島ハ從前ヨリ年貢ト稱スル貢納物アリ又元文二年檢地ノ際年貢地ナル名稱ヲ設ケタルヲ以テ爾後貢納物ハ地租ノ姿トナリタレトモ其課額ハ土地ノ多寡ニ伴ハス頗ル曖昧ナルモノナリシカ前記ノ如ク地租ノ制ヲ創ムルニ當リ從來ノ貢納ヲ田畑ニ割附ケ玆ニ初メテ地租タルコト確定スルニ至リタルモノトス

天明三年賦租シタル總額ハ左ノ如シ

段別		地租
	金額	同口納
田 五十七町八段八畝二十四歩五合	黃紬百十五反七分七厘	同口納
畑 三百十五町四段二畝二十七歩	永二十七貫七百三十二文三分	黃紬二十六反
山畑 不定	黃紬二百十五反三分	

畑ノ內ニハ八丈島屋敷地ヲ含ム

斯ノ如ク耕地ヲ調査シ賦租ヲ爲シタリシカ天明八年ニ至リ天明三年新規ニ賦課シタル地租ハ總テ免除シタリ然ルニ三宅島ニ在テハ天明三年以後地租ヲ賦課シ來リタルヲ以テ七島ノ內八丈三宅ノ兩島ニハ地租ノ制存續シ他ノ諸島ハ昔日ノ如ク無地租トナレリ越ヘテ寬政五年幕府ハ更ニ吏員ヲ派遣シテ土地ノ調査ヲ爲サシメ其結果各島耕地及屋敷地(八丈島屋敷地ハ天明及賦租ノ儘)ニ對シテ貢租ヲ定メタリ其額ハ左ノ如シ

段別		地租
	金額	同口納
屋敷 十二町一段三畝十二歩	五貫四百三十二文六分	
田 四町九段十八歩	黃紬八反八分	
畑 三百二十五町七段七畝二十五歩	黃紬七十八反	
山地 二町歩	黃紬一反	
	若干	

茲ニ於テ七島一般ニ地租ヲ賦課スルコトヽナレリ爾後土地ノ開廢異動ニ依リテ地租ヲ增減シ又新島神津島利島及三宅島四島ノ貢租地中或ル幾部ニ對シテハ島民蓄積金ノ必要ヨリ地租ト同一ノ方法ヲ以テ增徵ヲ命シ一定期限滿期後全ク永久ノ地租トナリ以テ明治維新ニ至リシカ明治十二年七月七日地租改正事務局ハ舊稅據置ノ事ヲ太政官ニ稟申シ同月二十四日之カ決裁ヲ經タリ卽チ左ノ如シ

伊豆七島舊稅據置ノ儀ニ付伺

東京府管轄伊豆國付七島舊稅據置ノ儀該府ヨリ上申候ニ付篤ト考按候處掌大孤島ノ點在ニシテ從來頗ル不便ヲ極メ候ヨリ百事未タ整理ヲ得ス此際强テ改租ノ法令ヲ施行セントスルモ實際難被行事情モ有之依テ特別ヲ以テ府縣見込ニ任セ暫ク舊稅ニ據置漸ク適當ヲ量リ施行候樣此段相伺候也

而シテ島民所持ノ土地中ニハ未タ地租ヲ課セサルモノアリ其他官民有區分ノ明カナラサルモノアルヲ以テ東京府ハ明治十五及十六年官吏ヲ各島ニ派遣シ調査ヲ爲サシメタル上明治十九年民有認定官有下付ノ處分ヲ爲スト共ニ地租ヲ課賦シタリ其段別及租額左ノ如シ

段別		地租
	金額	同口納
屋敷 一町三段七畝二十四歩	七拾貳錢六厘	
田 九段五畝十九歩	黃紬一反七分三厘五毛	
	黃紬七厘三毛	

畑		千二百六十一町七段六畝三歩	四四六錢五厘	黃紬二百二十二反九厘九毛
山林		千七百三十四町四段一畝二十歩	六拾七圓七拾九錢八厘	黃紬二十一反五分七厘二毛
原野		四百五十町六段八畝歩	七圓六拾六錢四厘	黃紬一反四分五厘三毛
雜種地		五段五畝六歩		黃紬一厘三毛
計		三千二百四十九町七段四畝十二歩	八拾圓貳拾五錢壹厘	黃紬二百四十六反八分六厘八毛
內譯	官有下付地ノ分	千八百九町三段六畝四分五合	四拾八圓六拾壹錢貳厘	黃紬二十反九分八毛
	民有認定地ノ分	千六百四十町三段八畝七分五合	參拾壹圓六拾四錢壹厘	黃紬二百二十六反八分

畑	千二百六十一町七段六畝三歩	黃紬九反一分五厘六毛
山林	千七百三十四町四段一畝二十歩	黃紬七分九厘二毛
原野	四百五十町六段八畝歩	黃紬五厘一毛
雜種地	五段五畝六歩	黃紬一毛
計	三千二百四十九町七段四畝十二歩	黃紬十反七厘三毛
內譯	官有下付地ノ分	千八百九町三段六畝四分五合
	民有認定地ノ分	千六百四十町三段八畝七分五合

四拾八圓六拾壹錢貳厘	黃紬七分二厘
參拾壹圓六拾四錢壹厘	黃紬九反三分五厘三毛

右民有地認定及官地下付處分ヲ爲スニ先チ東京府知事ハ左記ノ如キ調査順序ヲ定メテ七島ニ達シタリ蓋シ十六年ノ調査ニ依リテ官民有ノ區分判明シ之レカ處分ノ機遠キニアラサルヲ以テ爾後此順序ニ依リ異動地ノ整理ヲ爲サンコトヲ期シタルナラン然レトモ之ニ依リテ取扱ヲ爲シタルハ十八九年ノ交八丈島ニ於ケル二三ノ變換地及十八年神津島ニ於ケル一件ノ開墾地アルノミ府知事ハ又明治二十九年ニ至リ地役人ニ對シ民有異動地檢査ノ件ヲ委任シタリト雖モ調査順序達後既ニ此ノ如キ狀況ナルヲ以テ一モ實行シタルモノアルヲ見ス其後國稅事務ノ主管ヲ改メラレタル結果トシテ該委任條件ハ遂ニ消滅ニ歸セリ調査順序ハ今日效力ヲ有スルヤ否曖昧ナレトモ假リニ理論上有效ナリトスルモ事實ニ於テハ實行セラレス消滅ニ歸シタルノ觀アリ

自第三號至第九號

民有地開墾及荒地變換ノ出願者アルトキハ別紙地所調査順序ニ依リ取調差出スヘシ此旨相達候事

明治十七年一月九日

伊豆七島島役所

東京府知事

（別紙）地所調査順序

第一章　開墾地

第一條　民有ノ土地ヲ開墾（山林又ハ原野ヲ田畑又ハ宅地トナスヲ云）及鍬下年期ヲ願出ツルモノアルトキ實際要スル費用ト成效後該地ヨリ得ヘキ收利等ヲ豫算シ其ノ費用ヲ償却シ得ヘキ方法等取調願書ヲ屆出サシムヘシ

但鍬下ノ年期ハ十箇年以內タルヘシ

第二條　第一條ノ願書ヲ差出シタルトキハ地役人ハ實地ニ就キ段別ノ廣狹ヲ概量シ前調書ニ依リ年期ノ當否ト障害ノ有無トヲ調査シ願書ニ添ヘ具申スヘシ

第三條　鍬下年期明ニ至テハ更ニ段別ヲ丈量シ類地相當ノ貢租額ヲ付シ納稅願書ヲ差出サシムヘシ

第四條　第三條願書ヲ差出シタルトキハ地役人ハ實地ニ就キ段別ヲ查定シ近傍類地ニ比準シ其貢租適當ト視認スルトキハ其事由ヲ願書ニ添ヘ具申スヘシ

第五條　年期明ニ至リ該地ノ幾部分ヲ竣效セシトキハ其部分ノミ第三條第四條ノ例ニ依ルヘ

シ

第六條　年期明ニ至ルモ未タ竣功セサルヲ以テ全部又ハ殘地ノ年期繼續ヲ願出ルトキハ已ニ著手スルト否ラサルトニ拘ラス更ニ第一條、第二條ノ例ニヨルヘシ

第二章　荒地

第七條　民有地荒地トナリ免稅年期ヲ願出ル者アルトキハ願書ニ一筆限調書ト圖面トヲ添ヘ出サシムヘシ但免稅ノ年期ハ十箇年以內タルヘシ

第八條　第七條ノ願書ヲ差出シタルトキハ地役人ハ實地ニ就キ荒地ト存地ノ境界ヲ明瞭ニシ廣狹ヲ丈量シ段別限損害ノ輕重ヲ區別シ免稅年期ノ當否ヲ調査シ其事由ヲ願書ニ添ヘ具申スヘシ

第九條　荒地起返リ分チテ二項トス

第一項　起返リ直ニ本租額ヲ納ムルモノ

第二項　起返リシモ地位回復ニ至ラス低稅年期ヲ請求スルモノ

第十條　荒地起返ルトキハ段別ヲ丈量シ第九條第一項ニ該ルモノハ類地相當ノ貢租額ヲ付シ第二項ニ該ルモノハ低稅ノ年期ヲ付シ一筆限調書竝ニ圖面添納稅願書ヲ出サシムヘシ

第十一條　第十條ノ願書ヲ差出シタルトキハ地役人ハ第四條ノ例ニヨリ其事由ヲ願書ニ添ヘ具申スヘシ

第十二條　荒地年期明ケ全部起返シ得サルトキハ其起返リタル部分ノミ第十條、第十一條ノ例ニ依ルヘシ

第十三條　荒地年期明ケニ至ルモ起返ラサルヲ以テ全部又ハ殘地ノ年期繼續ヲ願出ルトキハ已ニ著手スルト否ラサルトニ拘ハラス第七條、第八條ノ例ニ依ルヘシ

第三章　變換地

第十四條　變換地（田畑宅地互ニ變換スルヲ云フ）ヲ出願スルモノアルトキハ願書ニ元地ノ貢租ト現地ノ貢租額トヲ記載セシムヘシ

第十五條　第十四條ノ願書ヲ差出タルトキハ第四條ノ例ニ依ルヘシ

今日現在セル七島ノ賦租段別及地租額ヲ表上スレハ

地利		地租		
		金額	八丈島本租	同口納
屋敷	十三町一段五畝二十三歩	六圓九拾參錢四厘	黃絹百三十二反七分四厘六毛	黃絹五反四分一厘九毛
田	六十七町三段二分	七拾八圓五拾六錢八厘	黃絹五百九十反五分五厘七毛	黃絹二十四反四畝一厘九毛
畑	千八百八十八町四段四畝歩	七拾七圓參拾四錢九厘	黃絹二十三反七分六厘八毛	黃絹一反一歩一厘六毛
山林	千七百九十町一段五畝十九歩五合	七圓六拾參錢	黃絹一反四分五厘三毛	黃絹五厘一毛
原野	四百五十町四段二畝十五歩	五段五畝六歩	黃絹一厘三毛	黃絹一毛
雜種地		四千二百十町三畝五分五合	七百四十八反五分三厘七毛	黃絹三十一反三厘四毛
計		百七拾圓四拾八錢壹厘		

畑ノ內ニハ八丈島屋敷地ヲ包含ス

ニシテ之ニ對スル徵收金品額ハ

金納　貳百貳圓五錢六厘

物品納　黃紬　九十八反

合絲繰　百三十反

ナリ更ニ各島ノ段別租額ヲ列記スレハ左ノ如シ

段別		地租額	徵收額			
		金額	本租黃紬	口紬	黃紬	合絲繰	合絲繰金額
八丈島	二、六六六、六三二七 町	円	七四八、五三七 反	三一、〇三四 反	九八 反	一三〇 反	三一、五七一 円
大島	六九八、八二二二	七五、五一七					七五、五一七
新島	三四四、〇一二二	三三、三二九					三三、三二九
神津島	七三、三五〇〇	九、九一三					九、九一三
利島	二八、一三二三 五	三、六四一					三、六四一
三宅島	三二六、〇七二〇	四三、九八七					四三、九八七
御藏島	七二、九八一一	四、〇九四					四、〇九四
計	四、二一〇、〇三〇五 五	一七〇、四八一	七四八、五三七	三一、〇三四	九八	一三〇	二〇二、〇五二

右ノ外荒地免租年期中ニ係ルモノ及免租地ノ種類段別ハ左ノ如シ

荒地免租年期地

段別		地租金額	八丈島本租同口紬
屋敷	四段七畝二十四歩	貳拾六錢參厘	黃紬一厘四毛
田	二十一歩五合		
畑	八町七段六畝二十五歩	貳圓貳拾四錢參厘	黃紬四厘五毛
計	九町二段五畝十歩五合	貳圓五拾錢六厘	黃紬五厘九毛

本表ノ內ニハ免租年期滿限ニ達スルモ繼年期附與ノ手續未濟ノ土地ヲ含ム

免租地

學校地　一段九畝二十歩

崖地　九町一畝十二歩

計　九町二段一畝二歩

次ニ地租徵收ニ關スル順序方法ハ先ツ既定ノ租額ニ依リ割付書ヲ作成シ代官ヨリ島役人ニ交付シ島役人ハ之ニ基ツキ尙ホ備付ノ帳簿ニヨリテ納額ヲ調査シ各村役人ニ通告シテ徵收シ又ハ互ニ各納人ヨリ徵收シ便船ヲ待チ若クハ其地便宜ノ方法ニ依リテ幕府ニ納付シ小手形卽チ現今ノ領收書ヲ受ケテ其義務ヲ了シ又代官ハ更ニ一箇年間ニ於ケル租稅其他返納米金等苟クモ納付シタルモノヽ納額ヲ統計調査シ皆濟目錄ナルモノヲ作成シ豫テ交付シ置キタル小手形ト引換ヘニ之ヲ交付シ以テ其納金ヲ確證スルハ幕府時代ニ於ケル一般ノ方法ナリシカ如シ然レトモ八丈島

ノ如キ物品納ノ制アリテ實際一般ノ法ニ依リカタキアリ其他ノ島嶼ニアリテモ代官ノ命令ヲ俟タス納人ヨリ徵收スルコトアリ又ハ幕府ニ對シテハ一時島役所又ハ村役場ノ現在金ヲ以テ納付シ置キ便宜時期ヲ定メテ納人ヨリ徵收シタルコトアリ千差萬別各島間ハ勿論一島ニ在リテモ年ニ依リ一定ナラス村役場ニアリテモ亦之ト同シク甲乙村落ヲ異ニスルカタメニ其取扱方法ヲ異ニスルモノアリタリ

今幕府ヨリ發シタル申渡書ノ重ナルモノヲ左ニ揭ケン

天明五年八月江川代官ヨリ申渡ノ一節

一　御年貢其外納物ノ儀常々心掛無遲滯急度可相納事

附御年貢納方ノ儀常々心掛候ヘハ自然ト無油斷百姓奢モ相止メ渡世モ心易候納方ニ差掛リ候テ諸事調方ニ取掛リ候故難儀ニ相成候此段末々ノ百姓マテ能々呑込作物其外稼ノ儀無油斷可致出精事

寬政八年十一月支配代官ヨリ申渡ノ一節

一　御年貢ノ儀是迄及延引候段相聞不屆ノ至候此後例年四月ヲ限リ御年貢永返納物トモ無滯上納可致遲滯ニ於テハ夫々吟味ノ上急度申付候條可得其意候

維新後ニ至リ政府ニ於テハ當初ハ唯形式ヲ異ニスルノミニシテ幕府ト殆ント同樣ノ取扱ヲ爲シタリシカ內地徵收法ノ改正ニ隨ヒ漸次同法ニ準據スルコトヽナレリ又島地ニ於ケル取扱手續モ明治ノ當初ハ幕府ノ時ニ於ケルト敢テ異ナル所ナカリシカ漸次改正ヲ加ヘ現今ニ於テ略內地市町村ノ徵收方法ニ類似スルニ至レリト雖モ多クハ便宜ノ取扱ヲナセリ

維新前及其以後トモ政府ヘ納付スヘキ租稅ニシテ之カ納付ヲ怠リ遂ニ缺損トナリタルモノヽ如キハ絕テアルコトナシ蓋シ其理由ハ租額ノ僅少ニシテ租率ノ低位ナルニ依ルモノナルヘシト雖モ畢竟幕府時代ニハ嚴格ナル命令アリテ之ニ服從シ滯納ヲ爲サヽル習慣ノ存スルニ至リシニ因ルモノナラン然レトモ滯納ノ場合ニ於ケル取扱方ニ付單ニ慣例ニ依ルハ甚タ不便ナルヲ以テ明治三十五年三月法律第二十三號ヲ以テ國稅徵收法中滯納處分ノ例ニ依ラシムルコトヽセリ

以上ハ伊豆七島ニ於ケル地租徵收ノ大要ナリ然ルニ獨リ八丈島ニアリテハ古來物納ノ制度行ハレ反布ヲ以テ地租ヲ納付シ以テ今日ニ至レリ仍テ左ニ其概略ヲ述ヘントス

八丈島ニ於テハ地租中本租ハ黃紬ヲ以テ定ムト雖モ現今實際ハ物品納及金納ノ二種ニ分レ物品納ニ合絲織納及黃紬納ノ二種アリ而シテ其金納ノ制ハ全ク維新ノ際ニ起リタルモノナレトモ二種ノ物品納ニ在テハ德川幕府ノ當時ヨリ行ハレタリ然レトモ往古ニ在テハ黃紬ヲ以テ納付シ合絲織等ヲ以テ納付スルコトナカリシカ德川家ヨリ反布ヲ注文スルノ事起リ次テ其注文ニ對シ納付スル所ノ反布ト貢租ト相殺セシムルコトヽナリ爾來幕府ハ用品ノ種類數量ヲ定メ前地ニ之カ注文ヲナスヲ例トセリ

今其手續ヲ述フレハ代官所ハ納戶方アリ德川家御用反布ノ注文書ヲ受ケ之ヲ島役人ニ傳達ス島役所ニ於テハ誂注文書ノ交付ヲ受ケタルトキハ各村貢租額ノ多寡ニ從ヒ各村ニ於テ織立ツヘキ注文反布ノ種類（合絲織帶織黃絲紬等ノ別）縞柄竝ニ其數量ヲ定メ之ヲ明記シテ各村ニ達ス之ヲ貢租ノ盛付トイフ村役場ニ於テハ盛付書ヲ受ケタルトキハ自村住民ヨリ徵收スヘキ合絲ノ數量ヲ定メ之ヲ賦課スル而シテ其納期ハ一定スル所ナク製絲ヲ終リタル頃ニ於テナスヲ例トス

此クノ如クシテ徵收シタル生絲ヲ以テ反布ヲ織立テ地役人名主立會ヒ檢査ノ上村役場ヨリ島役所ニ納付ス其期日モ亦一定セス抑〻反布ノ原絲ハ之ヲ精撰シ且染方及織立ニ付島村役人ニ於テ嚴ニ監督ヲ加フト雖モ布巾、布丈又縞柄相違シ往々織換ヲ命セラルヽコトアリ其他運漕中ニ於ケル汚損等ニヨリ納品ノ不合格トナルコトアルヲ以テ豫メ注文以外ニ同一ノ反布ヲ製シ以テ之ニ備フ之ヲ控織ト云フ而シテ控織ニシテ不用トナルトキハ町拂ノ上一村ノ入用ニ供ス

次ニ島役所ニ於テハ上納品ヲ八丈島御用船ニ積載シ地役人等之カ警固ヲナシ江戸著船ノ上船中ニ於テ內見分ヲ受ケ上納スヘキモノト定メタル反布ニ缺點アルトキハ控織ト引替ヘ納戶方ニ待テ受納スヘキ反布ヲ決定シ置キ然ル後爾後正當ノ手續ニヨリテ納戶方ニ納付シ此ニ全ク注文反布ノ納付ヲ了ルモノトス而シテ該納付ニ付テモ一定ノ期日ナシト雖モ上納品ノ織立染方ヲ了ルトキハ直チニ發船ノ準備ニ著手スルヲ以テ天候ノ不良ナラサル以上ハ毎年概ネ同一時期ニ於テ上納セリ

以上ノ外口絹代及品々出物代納付ノ制アリ口絹トハ一ニ口永ト稱シ本租ニ對スル附加稅ニシテ品々出物ハ貢租ニモアラス附加稅ニモアラサル一種ノ賦課ナリ而シテ此二種ハ代金納ノ方法ニヨル然レトモ是レ幕府ノ收入ニアラスシテ代官所ニ屬スルモノトス而シテ品々出物代ハ後明治八年雜稅ノ廢止ト共ニ之ヲ廢止セリ

降テ明治維新トナルヤ合絲織ハ元ト德川家ノ用品ニシテ貢租タル黃絹ト相殺スルハ一ノ便法ニ過キサルヲ以テ注文ノ廢止ト同時ニ之レカ納付ヲ止メ總テ黃絹ヲ以テ納付セシムヘキコト當然ナリト雖モ慶應三年將來ハ注文ニカヽル反布ノ額ヲ以テ納ムヘキコトヲ定ム蓋シ從來合絲織一

反ト黃絹五反トノ割合ヲ以テ相殺スルヲ例トスレトモ其割合今ヤ一ニ對スル二乃至三トナリ合絲織納付ヲ廢止セハ島民ノ負擔著シク增加スヘキヲ以テナラン而シテ賦課徵收ノ方法ハ當初ニアリテハ注文手續ナキノミニシテ大體上維新前ト同一ナリシカ後漸次各村適宜ノ方法ヲ用ユルニ至レリ今近年ニ於ケル狀況ヲ述ヘンニ稅務署ニ於テハ每年三月中ニ前年分地租ニ對スル納稅告知書ヲ製シ地役人ニ對シ之ヲ發付ス蓋シ維新前ニアリテハ各村每ニ割付書ヲ發セシカ直接納付者ハ地役人ナルヲ以テ維新後之ヲ變シタルナリ納期ハ每年五月三十一日トスレトモ其實其年九月、十月若クハ十一月ノ交ニ至ラサレハ納入セス而シテ島內ニ於ケル實況ハ每年二三月ノ交ニ至レハ島役所ハ各村ニ於テ織立ツヘキ反布ヲ定メ盛付書ヲ製シ之ヲ各村ニ廻達シ納稅告知書ノ著否ヲ問ハサルコト維新以前ニ同シ次ニ村役場ニ於テハ盛付書ノ交付ヲ受ケ各人ヨリ反布原絲ノ徵收ヲナスコト從來ノ例ナリシカ近頃ニ至テハ盛付方遲延スルコトアルノミナラス租額竝ニ反布ノ種類數量一定セルヲ以テ盛付ノ達示ヲ待ツノ必要ナシ故ニ一般ニ製絲ヲ終リタル時ハ全ク之ヲ了ラサルモ納付ニ支障ナキ時ニ至レハ徵收命令書ヲ發ス之ヲ切紙ト稱ス其他控織ノ制度ヲ存スルコト以前ニ同シ而シテ各村ニ於テ織立ヲ了リタルトキハ之ヲ村役場ニ保管シ島役所ヨリ發送船便ノ通知ヲ受ケタルトキ送狀ヲ付シテ島役所ニ送付ス島役所ハ受領ノ上證書ヲ交付スルモノトス次ニ島役所ヨリ政府ヘ納付スルニハ以前ハ島村役人ノ內必ス特ニ上京シテ之カ手續ヲナセシカ其後漸次便宜ノ方法ヲ用ユルニ至リ商人ニ託シ又ハ東京在住者ニ依賴スル例トス而シテ其納期ハ村役場ニ於テハ第二年ノ十月若クハ十一月頃ニ至リ其年ニ徵收シタル絲ヲ以テ織立ノ準備ニ著手シ翌年卽チ第三年ノ三月四月頃迄ニ之ヲ終ルモノニシテ第三年ニ島

役所ヘ納付シ島役所ハ其年之ヲ政府ニ納付スルモノトス次ニ地役人ヨリ納付書ヲ添ヘ税品ノ段布ヲ納付シ來ルトキハ税務署ニ於テハ其縞柄ヲ備付ノ反布縞本ニ對照シテ後之ヲ領收シ證書ヲ交付ス而シテ税品ハ收納時日ヲ期シ競賣入札ニ付シテ公賣シ其代金ヲ田租、畑租及雜地税ニ區別シ現金ハ普通ノ手續ニヨリ金庫ヘ拂込ムモノトス

其他代金ヲ以テ納付スヘキ地租アリ則チ黄紬一段未滿ノ端數即チ黄紬五分三厘七毛ニ對スル金五拾參錢七厘及ロ紬三十一反三厘四毛ニ對スル參拾壹圓參錢四厘ノ二種ニシテ税務署ハ之ニ對スル告知書ヲ製シ税品段布ノ告知書ト共ニ發布スルモノトス

收納表

八〇三、三七一・六四〇	七一八、一二七・六四一	二八、六六四・九二五	八八六、七三八・三六四	三九、二九一、四九四・六九七	
八〇〇、四七五・二八三	七一九、〇五七・六三九	二九、八三五・七八四	一三、一〇一・九七五	三八、六九二、八六八・二〇四	
八〇二、九九七、八六五	七一九、一八二・一一五	二九、三七五・五二〇	一三、五一四・〇八八	三七、六四〇、二八二・九七五	
八〇二、六八一・六七三	七二四、八〇〇 三五五	二九、二六一・七八五	一〇、三〇一・〇九三	三七、九六四、七二七・〇八五	
八一二、九〇五・七四三	七二六、八五一 三九四	二九、六三二・五九二	八、一八一・〇四九	三八、四四〇、九七五・七三三	
一、七五三、一〇〇 六六四	九五八、三二〇・九三七	三六、九五四・二四五	七、五六四・五三〇	四四、八六一、〇八二・一六一	
一、七五六、七四六 六七七	九五七、二一三・二七二	四四、三六四・三五九	七、〇一二・一四三	四六、七一七、七九六・八三六	
一、七六四、五二〇・三七五	九六〇、四九六・六一六	四六、二八三・四二二	七、一〇八・二七五	四六、六六六、四九三・七六四	
一、七七一、九一八・二八九	九六六、七六一・二八〇	四七、七八三・一八五	六、三五五・六七六	四六、五〇五、三九一・三〇一	

モ
明治八年度以前ハ其收入額地租收入額中ニ混同シ分明ナラス
ヲサルヲ以テ其總額ノミヲ揭ク
之ヲ區別セス內地地租ト混同セリ

年度	田	
第一期		
第二期		
第三期		
第四期		
第五期		
第六期		
第七期		
第八期		
明治八年度		
同九年度		
同十年度		
同十一年度		
同十二年度		
同十三年度	三〇、八	
同十四年度	三〇、七	
同十五年度	三〇、五	
同十六年度	三〇、八	
同十七年度	三〇、七	
同十八年度	三〇、六	
同十九年度	三〇、七	
同二十年度	三〇、五	
同二十一年度	三〇、六	
同二十二年度	三〇、八	
同二十三年度	二八、六	
同二十四年度	二六、九	
同二十五年度	二七、二	
同二十六年度	二七、九	
同二十七年度	二七、七	
同二十八年度	二七、九	
同二十九年度	二七、〇	
同三十年度	二七、二	
同三十一年度	二七、六	
同三十二年度	三一、二	
同三十三年度	三三、一	
同三十四年度	三三、〇	
同三十五年度	三二、八	

備考 一地 一明 一北

附錄 本邦地租收納表

年度	地租 田租	地租 畑租	地租 郡村宅地租	地租 市街宅地租	地租 雑地租	地租 北海道地租	地租 延納年賦	地租 合計	地券證印税
	円	円	円	円	円	円	円	円	円
期	—	—	—	—	—	—	—	二、〇〇九、〇一三・七三〇	—
期	—	—	—	—	—	—	—	三、三五五、九六三・九四五	—
期	—	—	—	—	—	—	—	八、二一八、九六九・〇〇八	—
期	—	—	—	—	—	—	—	一一、三四〇、九八三・五三七	—
期	—	—	—	—	—	—	—	二〇、〇五一、九一七・〇八七	—
期	—	—	—	—	—	—	—	六〇、六〇四、二四二・三八一	—
期	—	—	—	—	—	—	—	五九、四一二、四二八・八七四	—
期	—	—	—	—	—	—	—	六七、七一七、九四六・八五四	—
年度	—	—	—	—	—	—	—	五〇、三四五、三二七・七八〇	—
年度	—	—	—	—	—	—	—	四二、九四四、一三五・三四三	七九、二九〇・三六一
年度	—	—	—	—	—	—	—	三九、三四五、七七四・四六九	一〇四、七七六・六二九
年度	—	—	—	—	—	—	—	四〇、二八一、五一七・八八一	一七三、一九六・四五六
年度	—	—	—	—	—	—	—	四一、八八九、六九五・八六四	二二二、九五二・五一三
年度	三〇、八八一、八六九・四一九	七、一五三、二六九・五五六	二、五六七、九二四・七八〇	七八九、二五八・〇四二	五四七、八一八・五四三	—	一三九、四一八・〇七九	四二、〇七九、五五八・四一九	二六六、六二三・〇六四
年度	三〇、七五五、二二二・〇五〇	七、〇四二、七二九・五六五	二、六一八、七七四・四六三	八八一、五四八・六七四	九〇〇、〇四八・九〇七	—	八一〇、九四六・六一一	四三、〇〇九、二六六・二七〇	二六四、七六五・六二六
年度	三〇、五九二、一三七・四八九	六、九四七、九二五・四〇九	二、六一三、八〇九・三〇五	七九九、九〇五・一一六	九七〇、三〇五・〇〇四	—	一、〇五九、三五〇・二七〇	四二、九八三、四三二・五九三	三五八、七五五・二八三
年度	三〇、八一一、七一九・四六二	六、九〇六、九六一・六七四	二、六三〇、三一五・九四二	八一三、一七九・四六六	七六三、六四三・七四八	—	一、一三〇、二九七・二四一	四三、〇五六、一一七・五三三	四八一、五三〇・九七八
年度	三〇、七九六、七六九・七五九	六、八一五、四四五・一四八	二、六二五、二七九・五一七	七九二、七七三・五四二	七七一、二七〇・二五九	—	一、〇二七、五五一・二五一	四二、八二九、〇八九・四七六	五九六、九〇六・九九九
年度	三〇、六二一、八四三・三五八	六、七五七、九四二・八一二	二、六三一、九八一・四九八	七九〇、五九七・五六三	七五〇、一五三・四一〇	—	八九九、九二〇・四五二	四二、四五二、四三五・〇九三	五八一、二四〇・一四七
年度	三〇、七二〇、一二三・一二七	六、七四二、四八四・三四九	二、六三七、三五三・〇四〇	七八九、七五二・一八二	七二九、七七五・〇一一	—	七九八、〇一三・八八四	四二、四一七、五〇一・五九三	八六四、九七五・八一五
年度	三〇、五六五、九三八・七八七	六、七九六、四四四・八六二	二、六六九、七九一・四六六	七七五、八二九・七四四	七八、九一〇・九七六	三四、六一〇・七九八	五九〇、六四四・五一一	四二、一五二、一七一・一四四	—
一年度	三〇、六九五、〇八四・九五三	六、八三〇、一三一・四六二	二、六五〇、九七三・一三七	七七三、六〇〇・六一六	七一四、五九五・二六七	一九、七七六・七四六	四〇四、九四七・三七一	四二、〇八九、一四九・五五二	—
二年度	三〇、八四一、〇二〇・三一三	六、八六三、二九八・五五八	二、六七五、一五五・七八二	七七七、八四一・一四〇	七二〇、五四三・三〇八	三五、八四九・一四八	三三五、二七三・〇〇〇	四二、二四八、九八一・二四九	—
三年度	二八、六四九、五一四・六四二	六、四五五、八五五・二七四	二、七二五、六五八・〇四七	八〇六、八九三・九七一	七二一、四八三・三六一	二五、二五六・八六六	三二七、五五九・四二九	三九、七一二、二二一・五九〇	—
四年度	二六、九二八、二三五・〇五九	六、三二一、八〇〇・七〇四	二、六五〇、八一〇・八六八	八〇二、六一二・七三九	七〇八、〇〇八・八五〇	三〇、六九六・三九〇	一五、三三五・〇二五	三七、四五七、四九九・六三五	—
五年度	二七、二九八、五二一・八九九	六、三八八、八一八・二二一	二、六八三、一四〇・六三五	八〇〇、二七四・七九八	七一二、三三七・九四三	二八、〇六四・三一八	一四、〇八五・六〇三	三七、九二五、二四三・四一七	—
六年度	二七、九六五、三三三・七一八	六、五一九、七四四・三三六	二、七三八、七九一・三九九	八〇三、七九八・七五八	七二〇、三一一・三三六	二八、四九七・八三九	三二、二〇二・四三〇	三八、八〇八、六七九・八一六	—
七年度	二七、七〇二、九二七・八四五	六、四四四、九二一・七二三	二、七〇七、七四二・七三九	八〇二、三七一・六四〇	七一八、一二七・六四一	二八、六六四・九二五	八八六、七三八・三六四	三九、二九一、四九四・六九七	—
八年度	二七、九〇〇、三六八・三二五	六、五一五、二二三・四六三	二、七一四、八〇五・七三五	八〇〇、四七五・二八三	七一九、〇五七・六三九	二九、八三五・七八四	一三、一〇一・九七五	三八、六九二、八六八・二〇四	—
九年度	二七、〇一五、八〇四・八四九	六、三七七、八七三・三四五	二、六八一、五三五・一九三	八〇二、九九七・八六五	七一九、一八二・一一五	二九、三七五・五二〇	一三、五一四・〇八八	三七、六四〇、二八二・九七五	—
年度	二七、二一七、一一一・一四七	六、四四三、九一一・三二二	二、七三六、六五九・七一〇	八〇二、六八一・六七三	七二四、八〇〇・三五五	二九、二六一・七八五	一〇、三〇一・〇九三	三七、九六四、七二七・〇八五	—
年度	二七、六九八、五二七・六七三	六、四四〇、七五二・三七三	二、七二四、一二四・九〇九	八一二、九〇五・七四三	七二六、八五一・三九四	二九、六三二・五九二	八、一八一・〇四九	三八、四四〇、九七五・七三三	—
二年度	三一、二七七、一五三・五九七	七、三〇五、四六五・二八七	三、五二二、五二二・九〇一	一、七五三、一〇〇・六六四	九五八、三二〇・九三七	三六、九五四・二四五	七、五六四・五三〇	四四、八六一、〇八二・一六一	—
三年度	三三、一〇二、一〇五・一八一	七、三二一、六二四・二七一	三、五二八、七一〇・九三三	一、七五六、七四六・六七七	九五七、二一三・二七二	四四、三六四・三五九	七、〇一二・一四三	四六、七一七、七九六・八三六	—
四年度	三三、〇五四、三五八・八〇二	七、二九五、八六四・四三一	三、五三七、八六一・八四三	一、七六四、五二〇・三七五	九六〇、四九六・六一六	四六、二八三・四二二	七、一〇八・二七五	四六、六六六、四九三・七六四	—
五年度	三二、八八四、六五五・一六三	七、二八二、五九九・六三二	三、五四五、三一八・一七六	一、七七一、九一八・一八九	九六六、七六一・二八〇	四七、七八三・一八五	六、三五五・六七六	四六、五〇五、三九一・三〇一	—

考

一地券證印税ハ明治五年ヨリ實施セルモ明治八年度以前ハ其收入額地租收入額中ニ混同シ分明ナラス

一明治十一年度以前ハ地租細別分明ナラサルヲ以テ其總額ノミヲ揭ク

一北海道地租ハ明治十九年度迄ハ別ニ之ヲ區別セス內地地租ト混同セリ

明治財政史第五卷 終

昭和二年三月二十日印刷
昭和二年三月廿八日發行

【明治財政史第五卷奥附】

著作權所有

大藏省內

明治財政史編纂會編纂

大藏省內明治財政史編纂會副委員長

右代表者 河田烈

發行兼印刷者 草村松雄

東京市赤坂區田町七丁目三番地

發行所

東京市赤坂區田町七丁目三番地
財政經濟學會內

明治財政史發行所

電話青山五一一〇番(2)・振替東京一七〇八番

(東京市神田區宮本町中正社製版印刷)

明治財政史全十五卷略目次

第一卷
第一編 緒言
第二編 財政機關
第三編 會計法規(一)

第二卷
第三編 會計法規(二)

第三卷
第三編 會計法規(三)
第四編 豫算決算

第四卷
第五編 國庫出納

第五卷
第六編 租稅(一)

第六卷
第六編 租稅(二)

第七卷
第六編 租稅(三)
第七編 葉煙草專賣

第八卷
第八編 國債(一)

第九卷
第八編 國債(二)
第九編 準備金

第十卷
第十編 預金
第十一編 恩賞諸祿
第十二編 罹災救助

第十一卷
第十三編 通貨(一)

第十二卷
第十三編 通貨(二)
第十四編 銀行(一)

第十三卷
第十四編 銀行(二)

第十四卷
第十四編 銀行(三)

第十五卷
凡例
總目錄
索引
附錄
日露戰爭ニ於ケル本邦ノ財政
財政經濟ニ關スル諸計表

562
19